

第五十九回 帝國議會貴族院 抵當證券法案特別委員會議事速記錄第三號

付託議案
無盡業法改正法律案

昭和六年三月十七日(火曜日)午前十時十五分開會

○委員長(子爵伊東祐弘君) 是ヨリ抵當證券法案外九件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、本日ハ逐條ノ御審議ヲ願ヒタイ、御異議ガナケレバ、先づ一條カラ五條マデヲ議題ト致シマス

○子爵前田利定君 前ニドナタカラカ御問ガアツカモ存ジマセヌケレドモ、第一條デアリマスルガ、債務者ガ債權者ノ同意ヲ得タ場合ニハ、債務者側カラ抵當證券ノ交付ヲ申請スルコトガ出來ルヤウナ途ヲ開イテヤック方ガ、債務者保護ノ爲ニ宜イカト思ヒマスガ、前ニ質問ガアツカト思ヒマスガ……

○政府委員(長島毅君) 詰リ此本邦デハ、何ト申シマスカ、日本民法デハ登記ガ更新力ヲ持ッテ居リマセヌカラ、抵當證券ノヤウナモノヲ出シマシテモ、結局ハ後ニ述ベマスヤウニ、此異議ノ手續、面倒ナ異議ノ手續ヲ經ナケレバ抵當證券ガ出ナイコトニナツテ居リマス、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリ

リマスガ、債務者ガ未ダ抵當權ヲ設定スルト云フ考ノナイヤウナ場合ニ、之ヲ出シマスコトハ、相當無駄ナ手數ガ懸ルコトデ、餘り必要ノナイコトト存ジマス、又債務者ガ抵當權ヲ設定スル前ニ、サウ云フモノガ出テ居リマスト、結局ハ紛失トカ、色ニノ問題モ起リマスシ、詰リハ抵當證券ハ抵當權ヲ設定イタシマシテカラ後ニ之ヲ流通スル必要ニ基クノデアリマスカラ、抵當權ヲ設定シ、而シテ其時ニ一緒ニ特約ヲシテ置イテ、抵當權者ノ要求ニ依テ出セサルヤウニスレバ、其程度デ十分ニ必要ヲ充タスコトガ出來ハシナイカ、其點ニ色々面倒ナ手續ヲシテ之ヲ發行シ、或ハ時ニ間違ヲ生ズルト云フヤウナコトガアツテハ困リマスカラ、詰リ必要ノ限度ニ止メテ置イテ宜カラウト云フ考カラ、斯ク致シタノデアリマスガ、多分前ニ御説明ガアツカコトト存ジタノハ、多分前ニ御説明ガアツカコトト存ジマスガ、施行地區ガ大體市街地ニ限シテ居リマスト云フヤウナ點カラ來テ居ルノデアリマス、其次ニ二條ハドウ云フヤウナ抵當權ニ付テ抵當證券ガ出セルカ、言葉ヲ裏カラ申セバ、抵當證券ヲ出スコトガ出來ナイ場合ヲ規定シテアルノデアリマス、細カイ所ハ先づ略シマシテ最モ主ナル所ヲ申シマスト、抵當權ガ根抵當デアルカ、又債權等ノナイ場合ニ貸越ヲ豫想イタシマシタ抵當權等デアリマスト、元本ノ金額ガ極シテ居リマスカラ、此處デハ申上ゲマセヌ、兎ニ角手形トカ或ハ貸付證書ノヤウナモノヲ附ケテ参リマス、其次ハ特約デアリマス、是ハ特

申上ゲタイト思ヒマス、一條ハ抵當證券交付ノ手續デアリマシテ、何處ノ登記所ヘ其トヲ書イテアリマス、即チ土地、建物又ハ地上權等ノ登記簿ノアル所ノ登記所ニ抵當證券ノ交付ヲ申請シタラ宜イカト云フヤウナコトナツテ居リマス、ソレカラ途中ハ略シマシテ、五號ノ抵當證券發行ノ特約ナイ場合、即チ抵當證券ヲ發行イタシマスニハ必ズ利害關係人ガ之ヲ特ニ抵當證券ヲ發行シテ宜シイト云フコトヲ言ハネバ出セナイコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハサウ云フ抵當證券ガ出マスト云フト、債務者其他ノ者ノノ抵當權ヲ有シテ居ルモノガ抵當證券ノス、即チ土地ト建物ト地上權、斯ウ云フモスコト云フコトモ規定シテ居ルノデアリマス、即チ土地ト建物ト地上權、斯ウ云フモスカ、多分前ニ御説明ガアツカコトト存ジタノハ、多分前ニ御説明ガアツカコトト存ジマスガ、施行地區ガ大體市街地ニ限シテ居リマスト云フヤウナ點カラ來テ居ルノデアリマス、其次ニ二條ハドウ云フヤウナ抵當權ニ付テ抵當證券ガ出セルカ、言葉ヲ裏カラ申セバ、抵當證券ヲ出スコトガ出來ナイ場合ヲ規定シテアルノデアリマス、其次ノ三條ハ是ハ抵當證券交付ノ申請ニ要スル書面ノコトデアリマシテ、申請書ヲ要スルコトハ無論デアリマス、ソレカラ二號ハ此登記済證ヲ、詰リ抵當權ノ登記ヲ致シマスト御承知ノ登記済證ガ下リマスガ、其登記済證ヲ附ケテ參リマス、其次ハ手形其他ノ證書ヲ附ケルコトニナツテ居リマス、是ハ後デ御説明申上ゲル所ト關係ヲ致シテ居リマスカラ、此處デハ申上ゲマセヌ、兎ニ角手形トカ或ハ貸付證書ノヤウナモノヲ附ケテ参リマス、其次ハ特約デアリマス、是ハ特

約ノ登記ガ既ニゴザイマスレバ抵當證券發行ト云フ特約ハ登記簿ニ登記スルコトニナッテ居リマスカラ、其登記ガアリマスレバソレデ宜シノデアリマスガ、登記ガゴザ

イマセヌデモ抵當權設定者其他ノ利害關係人ノ同意書ガクッ附イテ居レバソレデモ特約ガアルト云フコトニナルノデアリマス、

是ハ大體提出書面デアリマス、第四條ハ申請書ニドウ云フコトヲ書ケバ宜シイカト云

フコトデアリマシテ、此細カイコトハチヨット説明ヲ省略イタシテ置キタイト思ヒマ

ス、五條ハ登記官吏ノ申請書ノ扱方デゴザイマスガ、是モ別段大シタコトハゴザ

イマセヌ、唯此申請書ガ正直ニ書イテアリ

マセヌトカ、或ハ登記所ノ管轄ニ屬シテ居ナイ外ノ登記所ノ申請書ガ出サレマストカ、

申請書ニ書イテアルコトガ登記簿ト合ツテ居ラヌト云フヤウナ場合ニハ、申請書ヲ却下イタシマスガ、併ナガラ其缺點ガ直グ直セルヤウナ場合ニハ是ハ却下ヲ致シマセヌ

デ申請人ニ返シテ、直サセマシテソレヲ受理スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、極ク大體デゴザイマスガ……

○水上長次郎君 二條ノ末號デゴザイマス、二條ノ末號デゴザイマスガ……
ノ添附書面トシテ規定スル必要上四號ヲ設ケタ次第デアリマス、詰リ二條ノ五號ノ方デハ特約ガナケレバ出セナイト云フコトヲ云フノデアリマシテ、三條ノ四號ノ同意書ト云フノハ矢張リ一條ノ五號ノ特約ト同一アリマスガ、登記ガナイト同意書ヲ出セト

ノ登記ガナイトキニハ抵當權設定者又ハ第三取得者及債務者ノ同意書ヲ以テ之ニ代ヘルコトガ出來ルコトニナッテ居ル、同意書ト云フモノト、特約ト云フモノトハ別ニナッタ

ヤウニ考ヘラレルノデスガ、若シ同ジコトデアルナラバ第二條ノ第五號ノ抵當證券發行ノ同意ナキトキハ、ト詰リ二條ト三條ト共通スルヤウナ文句ヲ以テ規定シタ方ガ良

クハナイカトチヨット考ヘラレマスガ、チヨットソレヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(長島毅君) 詰リ二條ノ方ハ特約ガナケレバ抵當證券ガ出セナイ、斯ウ云フ意味デゴザイマスガ、結局抵當證券發行ノ特約ハ、此後ニ不動產登記法ノ改正ノ所

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデアリマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデアリマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ノ特約ハ、此後ニ不動產登記法ノ改正ノ所

ハ、特約ナキトキト云フコトガアルト云フ

ト、同意書ガアッテモソレハ特約デヤナイカ

トニ……發行スルコトガ出來ヌト云フコトニセラレヤシナイカト云フ疑ナンデス

○政府委員(長島毅君) 詰リ二條ノ方ハ特約ガナケレバ抵當證券ガ出セナイ、斯ウ云

フ意味デゴザイマスガ、結局抵當證券發行ノ特約ハ、此後ニ不動產登記法ノ改正ノ所

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ノ方デ更ニ何ト申シマスカ、説明的ニ五號ノ特約ガ登記デアレバ宜シイガ、登記ガナ

ノ同意サヘアレバ發行スルコトガ出來ルトモ同意サヘアレバ發行スルコトガ出來ルト

モ同意サヘアレバ發行スルコトガ出來ルト

云フ意味ニ、結局サウ云フ意味ニナルノデスカ

○水上長次郎君 サウスレバ特約ガナクト

モ同意サヘアレバ發行スルコトガ出來ルト

云フ意味ニ、結局サウ云フ意味ニナルノデスカ

○政府委員(長島毅君) 詰リ其同意ガ矢張

リ特約ノ一種デアリマス

○水上長次郎君 此場合私ノ疑ヲ起スノ

ハ、特約ナキトキト云フコトガアルト云フ

ト、同意書ガアッテモソレハ特約デヤナイカ

トニ……發行スルコトガ出來ヌト云フコトニセラレヤシナイカト云フ疑ナンデス

○政府委員(長島毅君) 詰リ二條ナ、特約ハ

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

ニモゴザイマスヤウニ登記ガ出來ルノデア

リマス、登記ヲ致シマスレバ其特約ノ登記

○水上長次郎君 特約ト同意ト云フコトハ……

○政府委員(長島毅君) 特約ト同意ハ同ジアル場合モ、登記ノナイ場合モ這入テ居リマス、登記ガアッテモ登記ガナクトモ是等ノモノノ同意ガアレバ特約デアリマス、其特約ガナケレバ二條デ發行ガ出來ナイ、詰リ特約ハ是等ノ此處ニ揚ゲマシタ抵當權設定者等ノ同意書デアリマシテ、ソレヲ登記スルカシナイトカハ隨意デアリマス、シテモセヌデモ特約ガアレバ抵當證券ハ出セマスガ、唯登記ガアリマセヌ時ニハ其特約ハ第三者ニ對抗スルコトガ出來マセヌカラ、愈抵當證券ノ交付申請ヲスル時ニハ其同意書ガナケレバ……

○政府委員(長島毅君) 詰リ二條ナ、特約ハ云フコトハ發行ノ同意アリタルトキトカ、或ハ約束アリタルトキトカ云フ意味ニ解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(長島毅君) ソレデ宜シイノデアリマスガ、登記ガナイト同意書ヲ出セトアリマス

○名取忠愛君 此債務者ガ一順位ノ抵當權ニ向ツテ承諾セズニ、第二、第三ノ抵當順位ニ向ツテ此證券發行ノ承諾ヲシタ、サウ云フ

場合ニ一順位ニ拘ラズニ順位ノモノヘ其發

行ハ出來ルモノデゴザイマスカ

○政府委員(長島毅君) 抵當證券ハ順位ニ

關係ナク二順位ノモノニデモ三順位ノモノニデモ發行ガ出來ルコトニナッテ居リマス

○水上長次郎君 第三條ノ第三號デスナ、

「手形其他ノ債權ニ關スル證書」、是ハアレバ出スデセウガ、無ケレバ出サナイデ宜イ

ノデセウカ

○政府委員(長島毅君) ソレハ説明ヲ省略

イタシマシタガ、三條ノ二項ニゴザイマスヤウニ若シ三號ノ書面ガゴザイマセヌケレバ、其無イト云フコトヲ申請書ニ記載シテ

出セバ宜シイコトニナッテ居リマス

○水上長次郎君 此交付申請ニ付テハ、第

二號ノ抵當權者ノ權利ニ關スル登記濟證ダケガ普通發行ヲ請求スル場合ニ當ルダラウト考ヘラレルガ、此第三號ノ手形其他云々

ナリマスト云フト、今申上ゲマシタ第二項

ノ場合ヨリハ、其以外ニ、三項ノ場合ガ多イコトニナルト存ジマスノデスガ、兎ニ角

例ヲ設ケテ御答ヲ願ヒタイノデアリマス……チヨット申シ方ガ御分リニナラヌナラ申上ゲマスガ……

○政府委員(長島毅君)

大體ハ債權證書ニ

登記濟ノ判ヲ捺シマスカラ、登記濟證トハ一

致スルコトガ多イト存ジマス、唯手形ニ付

テハ手形ニ登記濟證ヲ捺スト云フコトハゴザイマセヌカラ、基本ノ債權證書ニ捺ス、

ソレデアリマスカラ斯ウ云フ時ニハ多クハ解シ兼ネマスガ、一ツ例ヲ以テ御尋ネ致シ

マスガ、普通ノ場合デアルト云フト、金ヲ貸シテサウシテ抵當權ヲ設定スル、サウスレバ其金ヲ貸シテ抵當權ヲ設定スル證書

ガ、即チ抵當權者ノ權利ニ關スル登記濟ノ證書ニナル、其場合ガ多カラウト思フ、若シ第三號ノ場合ガアリトスレバ、私ノ想像

スル所デハ、債務者ガ手形ヲ出シテサウシテ其手形ニ對シテ抵當權ヲ設定スル、サウスレバ其手形ト云フモノハ最初貸金トシテ

這入^シテ居タ所ノ證書ニ代ル所ノモノデア

ルコトガアリ又手形ト稱スル所ノモノモア

スラバ此手形ト云フモハ最初貸金トシテ

ニハ、サウスルト債權證書ト云フモノモア

ルコトガアリ又手形ト稱スル所ノモノモア

スラバ此手形ト云フモハ最初貸金トシテ

這入^シテ居タ所ノ證書ニ代ル所ノモノデア

ルカラシテ、之ヲ提出スルノ必要ガ生ズ

ル、斯ウ云フ意味ニモ解セラレルノデス

ガ、其處ハドウ云フ風ニ……

○政府委員(長島毅君) 私ハチヨット御問

ヒノ趣旨ニ嵌^シタ御答ガ出來ルカドウカ疑

リマス、サウシテソレヘ抵當證券ガ出マス

ト云フト、抵當證券ト手形ガ二重ニ流通ラ

致スト云フ危険ガアル譯アリマス、二重

ニ……サウ致シマスト債務者ガ二重ニ債務ヲ負擔スルヤウナ危険ガアル、其處デ是ハ

先キノ話ニナリマスガ、其處デ此三號ニ依テ手形ヲ出サセマシテ、十三條デゴザイマ

シタカ、十三條ノ規定デ其手形ニ抵當證券

貸行ノ判ヲ捺シマシテ、爾後其效力ガナイト

ト云フコトニ致シマス、ソレノミデハアリ

マセヌガ、ソレガ主ナル目的デアリマス、

シタカ、十三條ノ規定デ其手形ニ抵當證券

貸シテサウシテ抵當權ヲ設定スル、サウス

レバ其金ヲ貸シテ抵當權ヲ設定スル證書

ガ、即チ抵當權者ノ權利ニ關スル登記濟ノ證書ニナル、其場合ガ多カラウト思フ、若シ第三號ノ場合ガアリトスレバ、私ノ想像

スル所デハ、債務者ガ手形ヲ出シテサウシテ其手形ニ對シテ抵當權ヲ設定スル、サウスレバ此手形ト云フモハ最初貸金トシテ

這入^シテ居タ所ノ證書ニ代ル所ノモノデア

ルカラシテ、之ヲ提出スルノ必要ガ生ズ

ル、斯ウ云フ意味ニモ解セラレルノデス

ガ、其處ハドウ云フ風ニ……

○政府委員(長島毅君) 私ハチヨット御問

ヒノ趣旨ニ嵌^シタ御答ガ出來ルカドウカ疑

リマス、サウシテソレヘ抵當證券ガ出マス

ト云フト、抵當證券ト手形ガ二重ニ流通ラ

致スト云フ危険ガアル譯アリマス、二重

登記濟證ト云フモノモ要ラナイコトニナル、元來證券ヲ發行スルノハ手形ニ依^テ

發行スルカ證書ニ依^テ發行スルカ尙ホ詳シク例ヲ申シマスレバ、甲ガ乙ニ對シテ金

ヲ一万圓借ル、ソレニ對シテ抵當權ヲ設定スル、斯ウ云ヘバ即チ一万圓ヲ借リタ證文トソレニ依^テ登記シタ所ノ證書ヲ出セバ

ソレデ宜イ、之ニ反シテ手形ヲ振出ス、證書

シタカ、十三條ノ規定デ其手形ニ抵當證券

貸シテサウシテ抵當權ヲ設定スル、其手形ニ

ニ抵當證券ヲ出ス原因ガアルト云フコトヲ

確メルノモ一つデアリマス、手形ヲ出サセマ

ス主ナル目的ハ其處ニアルノデアリマス、

シテ抵當權ヲ設定スルト云フ場合モ出テ

來ルト思フ、二ツトモ出ス^ト云フヤウナコトハチヨット想像出來ナイヤウニ思ハレマ

スガ、或ハ其手形ノ種類ニ依^テ或ハサウ

云フ場合モ起ルカモ分リマセヌケレドモ、

チヨット了解シ兼ネマスガ、サウスルトドウ

云フ風ニ解シタラ宜イデセウカ、手形ヲ出

シテ抵當權ヲ設定スル時ニハ第二項ノ方ニ

ハ這入ラヌコトニナルノデセウカ

クノ場合ニハ御存ジノ如ク登記……債權證書ニ登記濟ノ判ガ捺サレマスカラ、サウナ

リマスレバ詰リ二號、三號ガ兩方兼不ルコトニナリマスカラ、詰リ三號ノ方ハ要ラナ

マシモ證書ニシマシテモ、ドチラカノ債

權ニ對シテ抵當權ヲ設定スレバ目的ヲ達セラレルト思フ、サウスルト兩方出ス必要ハ

アリモシナシ、又サウ云フ必要ハ起^シテ來

ナイカト思フ、手形ニ對シテ抵當權設定ヲスレバ、ソレハ手形抵當權ノ權利ニ關スル

マスト、恐ラクハ債權證書ト手形トガ兩方

アルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ兩方トモ出サセル趣旨デアリマス、ソレニ關スルモノハ確保スル手形デアリマシテモ、ソレカラ債權ノ證書デアリマシテモ、何レモアルダケヲ出サセルノデアリマス、色ニノ場合ガアルト存ジマス、手形ダケ出ス場合モアリマセウシ、債權證書ヲ出ス場合モアリ、兩方出ス場合ガアリマス

○水上長次郎君 斯ウ云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマスカ、抵當權ヲ設定スル場合ニ普通貸金證文ト云フモノヲ作製シテ、ソレニ依テ金ヲ借りマシタガ、手形ノ債權債務ニ依ツテ設定スル場合ガアル、サウ云フ場合ニハ登記簿ニ金ヲ借りタ、手形ノ原因デアラウガ、證書デアラウガ、兎ニ角金ヲ借りタ云フコトヲ書クシ、其借リマンタ原因ハ約束手形トカナントカ云フモノデ借りタノデアルト言ウテ、特別ニ其手形ヲ呈示リタ云フコトヲ書クシ、其借リマンタ原因ハ約束手形トカナントカ云フモノデ借りタノデアルト言ウテ、特別ニ其手形ヲ呈示スル、サウ云フ場合ニハモウ既ニ登記所ニ於テ債權ト云フモノガアリ、之ニ對シテ抵當權ヲ設定シタ云フコトヲ記載シタ以上ハ、其原因トナルベキ手形ト云フモノハ一向用ノナイモノデアル、但シソレヲ無效トシテシマフ無效ト云フコトハ絶対ノ無效デアルカドウカハ疑問デアリマスガ、兎ニ角手形ヲ發行スルコトニ付テハ別ニ必要ガナ

イ、唯原因ヲ主張スルダケノ場合デアル、何處ノ建物、何處ノ地上權、斯ウ云フヤウ效ト云フコトニナルト、抵當權ヲ設定シタ方ノ債權ト、手形トノ債權ト、一ツノ債權ニ付テ二ツノ證券ヲ出スト云フヤウナコトガ出來ルカラ、ソレデ無効トスルト云フヤウナコトニナルト云フ意味合ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(長島毅君) 共通リデアリマス

○水上長次郎君 分リマシタ

○委員長(子爵伊東祐弘君) 御質問ガナケレバ六條カラ十一條ニ移リマス、宜シウゴザイマスカ、ソレデハ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(長島毅君) 六條ハ大體催告ノ規定デアリマス、即チ抵當證券ノ交付ノ申請方アリマスルト、登記官吏ハ利害關係人ニ對シマシテ異議ノ催告ヲ致シマス、即チ其抵當證券ノ發行ニ付テ異議ノドウ云フコトヲ催告スルカト云フコトハ後ニ申上ゲマスガ、其異議ノ催告ヲ一定ノ期間内ニ申立スガ、其表示ヲシロ、即チ表示ヲシテ尙ホソレガ三條ノ第一項ノ三條ノモノガ手形デアレバ無ケレバ無イト云フコトヲ申請書ニ書イテ其表示ヲシロ、即チ表示ヲシテ専ホソレガ三條ノ第一項ノ三條ノモノガ手形デアレバ無ケレバ無イト云フコトヲ申請書ニ書イテアルト云フコトモ記載シロト云フコトニナッ共催告ニハドウ云フコトヲ掲ゲマスカト申テロト云フ異議ノ催告ヲ致スノデアリマス、

アリマス、是ハ前申シタヤウニ手形ト抵當證券トガ二ツ流通ヲ致シマスト云フト、債務者ハ手形ノ所持人ニモ、抵當證券ノ所持人ニモ、債務ノ支拂ヲシナケレバナラヌヤウナ危険ニ瀕シマスカラ、手形ガ出テ居ルコトニナッテ居リマス、ソレカラナラヌヤウナ危険ニ瀕シマスカラ、手形ガ出テ居ルコトニナルト云フヤウナコトナコトヲ催告ヲ致シマス、若シソレガ間違テ居リマスレバ、ソレニ付テ異議ガ申スコトガ出來ルカラ、ソレデ無効トスルト云フヤウナコトニナルト云フ意味合ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

又ハ地上權ノ表示、何處ノ土地デアルトカ、何處ノ建物、何處ノ地上權、斯ウ云フヤウ元本ノ額デアリマストカ、或ハ利率トカ、支拂トカ、辨濟期トカ云フヤウナ事柄デアリマス、是等詰リ主ナル利害關係ノアル點ヲ催告書ニ掲ゲテ、サウシテ異議ガアレバ一定ノ期間内ニ申出セト云フコトヲ利害關係人ニ催告ヲ致ス次第デアリマス、尙ホ利害關係人ノ中デ債務者ニ出シマス催告ニハニ對シマシテ異議ノ催告ヲ致シマス、即チ其抵當證券ノ發行ニ付テ異議ノドウ云フコトヲ催告スルカト云フコトハ後ニ申上ゲマスガ、其異議ノ催告ヲ一定ノ期間内ニ申立スガ、其表示ヲシロ、即チ表示ヲシテ専ホソレガ三條ノ第一項ノ三條ノモノガ手形デアレバ無ケレバ無イト云フコトヲ申請書ニ書イテアルト云フコトモ記載シロト云フコトニナッ共催告ニハドウ云フコトヲ掲ゲマスカト申テ居ルノデアリマス、即チ此債務者ダケニハ手形ト、其債權證書ハ手形デアル、手形デアレバ手形デアル、手形ガナケレバ、手形ハナイト云フコトヲ申請書ニ書イテアルデシマスノデアリマス、譬へテ申シマスアルカドウカハ疑問デアリマスガ、兎ニ角バ、三項ノ抵當權ノ目的タル土地、建物、

マスレバ、抵當權ノ目的タル土地ガ、催告書ニ書イテアル土地ガ實際ノ土地トハ場所ガ違フトカ、坪數が違フト云フヤウナ場合、或ハ登記簿、登記ニ載シテ居ル所ノ坪數ト違フトカ、或ハ元本ノ額ガ登記ニ書イテアルノト違フトカ、又ハ實際借りテ居ル額ト違フトカト云フヤウナコトガアリマスレバ、其他ニモゴザイマスガ、大體斯ウ云フコトガアリマスルト云フト、ソレニ付テ抵當證券ノ交付ニ付テ異議ガ言ヘルヤウニナツ居リマス、併ナガラ其異議ハ七條ノ第二項ニ依リマシテ、自分ノ分ダケシカ言ヘナイノデアリマス、併ナガラ其異議ハ七條ノ第二項言ヘナイ、自分ノ分ダケシカ言ハセナイヤウニ致シマシテ、先ヅ異議ノ濫發ト云フコトヲ防グコトニ致シタノデアリマス、デ今申シタヤウニ異議ヲ申立テマスト、是ハ登記所ノ役人デ裁判ヲスルコトハ出來マセヌデ、其時ニハ登記所ノ所在地ヲ管轄シテ居リマス所ノ區裁判所、登記所ノアル所ヲ管轄シテ居リマス、デ異議ノ裁判ガ決マリトニナッテ居リマス、デ異議ノ裁判ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是ハ九條デアリスルコトニナッテ居リマス、裁判所ハ其コトヲ登記所ニ通知

マスレバ、抵當權ノ目的タル土地ガ、催告書ニ書イテアル土地ガ實際ノ土地トハ場所ガ違フトカ、坪數が違フト云フヤウナ場合、或ハ登記簿、登記ニ載シテ居ル所ノ坪數ト違フトカ、或ハ元本ノ額ガ登記ニ書イテアルノト違フトカ、又ハ實際借りテ居ル額ト違フトカト云フヤウナコトガアリマスレバ、其他ニモゴザイマスガ、大體斯ウ云フコトガアリマスルト云フト、ソレニ付テ抵當證券ノ交付ニ付テ異議ガ言ヘルヤウニナツ居リマス、併ナガラ其異議ハ七條ノ第二項ニ依リマシテ、自分ノ分ダケシカ言ヘナイノデアリマス、併ナガラ其異議ハ七條ノ第二項言ヘナイ、自分ノ分ダケシカ言ハセナイヤウニ致シマシテ、先ヅ異議ノ濫發ト云フコトヲ防グコトニ致シタノデアリマス、デ今申シタヤウニ異議ヲ申立テマスト、是ハ登記所ノ役人デ裁判ヲスルコトハ出來マセヌデ、其時ニハ登記所ノ所在地ヲ管轄シテ居リマス所ノ區裁判所、登記所ノアル所ヲ管轄シテ居リマス、デ異議ノ裁判ガ決マリトニナッテ居リマス、ソコデ裁判ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是ハ九條デアリスルコトニナッテ居リマス、裁判所ハ其コトヲ登記所ニ通知

マス、ソコデ十條ニ依リマスルト、今申シタヤウニ六條デ催告ヲ致シマシテ、其間異議ヲ申立テマセヌ、異議ヲ申立テマセヌデソレカラ以後ハ抵當證券ヲ取得シテ、其異議ノ事由ヲ知ラズシテ、取得シタ者ニハモノ額ガ違シテ居リマシタト異議ヲ言ヘバ宜シマス、ソレデアリマスカラ、例ヘバ元本シイノデアリマスガ、異議ヲ言ハナイデ抵當證券ガ裏書ヲサレテ轉々致シマスト云フト、裏書ニ依シテ之ヲ抵當證券ヲ得タ人、而モ抵當證券ニ書イテアル所ノ元本ノ額ガ本當ダト思シテ、抵當證券ヲ取得シタ人ニハ最早元本ノ額ガ違シテ居ルト云フ異議ハ言ヘナイト云フコトニナルノデアリマス、デスク致シマセヌト抵當證券ト云フモノガ圓滑ニ流通ヲ致シマセヌ、一番初メノ抵當權者ト債務者トノ間ニ色ミノイザコザガ其後ノ抵當證券ノ所持人ニ持越サレルヤウデハ、抵當證券ノ取引ト云フモノハ到底圓滿ニ行ハレマセヌカラ、今申シタヤウナ手段デ詰リ異議ト云フモノヲ打切ルコトニ致シタノデアリマス、第一項ハ今申シマシタヤウニトスレバ二箇月内ニ訴訟ヲ起サナケレバナル、之ヲ要スルニ一定ノ期間内ニ異議ヲ言ハナケレバ異議ハ打切ラレル、ト言シテモ非訟事件手續法デ自分が負ケタ時ニ、ソレ

マス、ソレデソレニハ證券ノ番號、是ハ無論ノコトデアリマスガ、ソレカラ大體ハ四條ニ掲ゲテアルコトハ全部書ク次第デアリタヤウニ八條デアリマスガ、ソレデアリマス、ソレデソレニハ證券ノ番號、是ハ無論ノコトデアリマスガ、ソレカラ大體ハ四條ニ掲ゲテアルコトハ全部書ク次第デアリスガ、以上ノ如ク致シマシテ、今申シタヤスケレバ、此時ニハモウ登記官吏ハ其抵當證券ヲ出シテ宜シイト云フコトニナリマス、又前ニモ申シマシタヤウニ、異議ハ申シマシタガ、非訟事件手續法デ其異議ハ理由ナイト云フコトデ、異議ノ申立人ガ負ケモウ其イザコザハ、異議ハ打切ラレテシマフ、第一項デ申シタヤウニ異議ハ打切ラレテシマフト云フコトニ相成ル次第デアリマス、少シ申落シマシタガ、此異議ノ申立ノ裁判ハ八條ニアリマスヤウニ、非訟事件手續法ト致シマシテ幾分簡單ナ方法デ裁判ヲ致スノデアリマスカラ、ソレデモウ全然異議ノ理由ナシト云フコトニ決メテシマフト云フコトハ出來マセヌノデ、更ニ是ガ訴ヘテ本當ノ訴訟手續デ、モ一度争ヘルコトニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラモ一度争フテ居ルノデアリマス、是ハ二箇月内ニ本當ノ正式ノ訴訟ヲ起サナケレバ異議ハ打切ラレルト云フコトニナラヌ、二箇月内ニ本當ノ正式ノ訴訟ヲ起サナケレバ異議ハ打切ラレル、ト言シテモ非訟事件手續法デ自分が負ケタ時ニ、ソレ

○政府委員(長島毅君) 十二條ハ抵當證券ニドウ云フコトヲ書クカ、抵當證券ハドンナモノカト云フコトヲ規定シテアリマシテ、是ルカト云フコトヲ規定シテアリマシテ、是ハ御手許ニ御配リヲ致シテアルヤウナ大體雑形ニ依ル積リデアリマス、勿論是ハ未定稿デアリマスカラ尙ホ變ルカモ存ジマセヌガ、是ハ二枚ゴザイマスガ、二枚ハ一枚ノ裏ト表ヲ表示イタシテ居リマシテ、之ヲ斯

マス、ソレデソレニハ證券ノ番號、是ハ無論ノコトデアリマスガ、ソレカラ大體ハ四

マス、主モナルモノハ抵當權ノ目的タル、
土地トカ、建物トカ、抵當設定者ノ名前、
元本ノ額、利息、辨濟期ト云フヤウナコト、
ソレカラ利息ノ支拂、利息ノ元本ノ支拂場
所ト云フヤウナコトヲ書クコトニナッテ居
リマス、無論登記所ノ官吏ガ記名捺印ヲ致
シマシテ且ツ當局ノ判ヲ押スト云フコトニ
ナッテ居ル次第アリマス、十三條ハ是ハ丁
度登記ノ交付文書ノ場合ニ稍々似テ居ル規
定デアリマシテ、抵當證券ヲ發行致シマシ
タ場合ニ此三條ノ一項ノ二號三號ノヤウナ
書類ヲ出シマシタ時ニハ、例ヘバ債權ヲ證
スルヤウナ書面、債權證書ヲ出シマシタヤ
ウナ時ニハ、登記官吏ハ其債權證書ノ抵當
證券ヲ此モノニ付テハ出シタト云フ判ヲ押
シマシテ、サウシテ申請人ニ返スノデアリ
マス、尙ホ茲ニ御注意ヲ御願ヒ致シタイノ
ハ前ニモ申上ゲマシタ通リニ手形ヲ出シ
シタ場合デアリマシテ、手形ヲ出シマシタ
場合ニハ矢張リ此手形ニモ抵當證券ヲ出シ
タト云フ判ヲ押スノデアリマス、サウ致シ
マスト其手形ハソレカラ後ニハ效力ヲ有タ
ヌコトニナリマスノデアリマス、ソレハ前
ニ申シマシタヤウニ若シサウ致シマセヌ
ト、抵當證券ト手形トガ違ツタ人ニ裏書ヲ
サレマスト、債務者ハ手形ノ所持人ト抵當

證券ノ所持人ト兩者ニ債務ヲ負擔シナケレ
バナラヌヤウナ結果ニ相成リマスルカラ、
其危險ヲ防止スル爲ニサウ云フ判ヲ押スト
云フコトニ致シタ次第デアリマス、ソレカ
ラ十四條ハ是ハ抵當權竝ニ其債權ノ處分ト
云フコトデアリマシテ、一旦抵當證券ガ發
行サレマシタ後ニハ、此抵當權ニ對シテ其
抵當權ヲ背負^フテ居リマス所ノ債權ト云フ
モノヲ讓渡スト云フヤウナ場合ニハ、必ズ
此抵當證券ヲ相手方ニ對シテ渡サナケレバ
イケナイト云フコトニナンテ居ルノデアリ
マス、是ハ詰リ此抵當權ヲ背負^フテ居リマス
債權ガ有價證券的ニナル、有價證券化セラ
レルコトニナル次第デアリマス、恰モ手形
ト同ジヤウニ其債權ガ手形ニ表示シテ居ル
債權ハ手形ヲ渡サナケレバ移轉サレナイト
同ジヤウニ抵當附債權モ抵當證券ヲ以テシ
ナケレバイケナイト云フコトニ致シタ次第
デアリマス、十五條ハ十四條ト略、對應シ
テ居ル規定デアリマシテ、斯クシテ抵當證
券デ抵當附債權ヲ處分イタシマス際ニハ、
抵當證券ニハ必ズ裏書ヲシナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマ
ス、裏書ハ大體手形ノ方法ニ依ルノデアリマ
スガ、手形ノ規定ヲ準用イタシテ居リマ
スガ、唯、其裏書ニハ裏書人ノ住所ヲ書カ

レハ後ニモ申シマスヤウニ裏書人ニ通知ヲ要スル事項ガゴザイマシテ、其通知ハ手形ノ裏書ノ住所ニヤレバ、宜イト云フコトニナフテ居リマス、結果ソレト照應イタシマシテ裏書ニハ裏書人ノ住所ヲ書クト云フコトニ致シタ次第デゴザイマス、ソレカラ十六條ハ此抵當權ノ變更デアリマス、其變更ハ元本ノ額デアリマストカ、或ハ抵當權ノ目的物ノ坪數等ノ増減ト云フヤウナコト、斯ウ云フヤウナコトハ抵當證券ノ記載ヲ變更新バカリデナクシテ、尙ホ其上ニ不動產登記簿ノ登記ヲモシナケレバ、第三者ニ對抗スルコトガ出來ナイト云フコトニ致シタノデアリマス、即チ讓渡ダケハ裏書デ參リマスガ、其他ノ元本ハ矢張リ此登記簿一緒ニ直サナケレバイケナイ、ソレデナケレバ第三者ニ對抗ガ出來ナイト云フコトニ致シタ次第デアリマス、第七條カラ第二十條マデハ、是ハ非常ニ細カイ登記ノ規定デアルノデゴザイマスガ、要スルニ抵當證券ノ記載ヲ直ス時ニハ、先づ以テ登記簿ヲ直シ持シテ來イト云フコトニ致シマシテ、サウシテ登記官吏ハ登記簿ヲ直ス時ニ、必ズ是ト

シテ、要スルニ抵當證券ノ記載ト登記簿ノ記載トガ、相互ニ矛盾シナイヤウニ致シマシタ、是ハ手續上ノ規定デゴザイマシテ、是ハ別段ニ御説明ヲ申上ゲル必要モナイト存ジマスカラ省略ヲ致シマス

○水上長次郎君 十六條ノ抵當權ノ變更ト云フ時ニハ斯ウ云フモノハ入ラヌデセウカ、抵當權ノ目的タル土地ヲ賣却シタ場合、或ハ又其土地ヲ二重ニモ三重ニモ抵當ニ入レタ場合、最初債權證書ヲ發行スル時ニハ何等サウ云フ異狀ハナカッタノデアリマス、サウシテ又證券ノ目的タル抵當權ガ、ソレ自體ニ變更ヲ生ジタノデアリマセウケレドモ、抵當權ノ存スル土地ノ變更シタ場合デス、モウ一つ詳シク言ヘバ抵當證券ヲ發行シタ折ノ登記ニ變更ヲ起シタ場合デアリマス

○政府委員(長島毅君) 色ミナ場合モヨザイマスガ、例ヘバ其抵當權ノ目的物ガ、第三者ニ移轉シタ場合ハ、抵當證券ノ變更ニアナリマセヌノデアリマス、ソレハ抵當證券ニハ其當時ノ第三取得者ヲ書クダケデアリマスカラ、ソレハ普通ノ所有權移轉ノ登記ヲ致シマスレバ宜シイ次第デアリマス、ソレカラシテ、二番モ三番モ、其當時ノ二

番三番ノ抵當權者ハ、抵當證券ニ書キマス
ケレドモ、其後ノ變更ハ矢張リ登記簿ノ記
載ダケデ宜イ譯デアリマス、詰リ抵當證券
ノ出テ居ル證券デナク、其目的物ニ二番三
番ノ抵當權ヲ付ケルノデアリマスカラ、ソレハ
登記簿ニ登記ヲスレバ宜シイノデアリマシ
テ、ソレハ矢張リ抵當證券ノ目的タル抵當
權ノ變更ニハナラヌノデアリマス、十六條
ニアリマス抵當權ノ變更トアリマスノハ、
無論抵當證券ノ目的ニナシテ居リマス、抵當
權ノ變更ト、斯ウ云フ意味ト御了解ヲ願ヒ
タインデアリマス

○水上長次郎君 十五條ニ付テ御伺ヒ致シ
マス、證券ノ讓渡ハ裏書ニ依ッテ之ヲ爲ス、
斯ウアリマスガ、此規定ニ依リマスト云フ
ト、抵當權ノ目的物タル不動產ニ付テ、或
ハ所有權ヲ取得スルトカ、或ハ又二番三番
ノ抵當權ヲ取得スルトカ云フ場合ニ、其土
地ニ對スル第一番ノ抵當權ヲ有シテ居ル者
ハ何人デアルカト云フコトハ分ラナイ、ソ
レハ詮索ノシヤウニ依ッテハ分ラナイコト
モアリマスマイケレドモ、ナカ／＼而倒デ
アラウト思フ、場合ニ依ッテハドウシテモ分
ラヌヤウナコトモアルカモ知レメト思フ、
サウスルト云フト其抵當權ノ目的物タル不
動產ニ付テ、利害ノ關係ヲ有スル者ハ甚ダ
不便デアル、ダカラシテ讓渡ハ登記ヲシナ
ケレバ其效力ガナイト云フ考ヲ持シテ居ルノデア
リマスガ、併シドウシテモ讓渡ニ依ッテ效力
ヲ生ズルヤウニシナケレバナラナイト云
フ、何カ確タル理由ガアリマスレバ、ソレ
ヲツキナラシテシマフト云フヤウナ時ノ便
宜ヲ失フト云フ御話ト存ジマスガ、茲ニ申
シマシタヤウニ、是ハ無記名裏書ヲ禁止シ
テ居リマス、利子ノ支拂デアリマストカ云
フヤウナ時ニハ、大抵ハ利子ハ無論證券ノ
所持人ガ取りニ參リマスノデスカラ、多ク
ハサウ云フヤウナコトデモ分ルト思ヒマ
ス、又是ハサウ多數ノ人ノ間ニ轉々スル譯
ノデアリマス結果、詰リ抵當權ト云フモノ
ヲ有價證券的ノモノニ致シマスト同時ニ、
之ノ讓渡ト云フコトハモウ登記ナドハ要ラ
ヌ、圓滑ニ之ヲ流通スルノガ本法ノ目的デアル
ノデアリマス結果、詰リ抵當權ト云フモノ
ヲ有價證券的ノモノニ致シマスト同時ニ、
之ノ讓渡ト云フコトハモウ登記ナドハ要ラ
ヌ、圓滑ニ之ヲ流通スルノガ本法ノ目的デ
アリマス、而シテ利害得失ノ問題ニナリマ
スレバ、無論物ニハ先づ大體一利一害ガア
ル譯デアリマシテ、多少弊害ハアルカ存ジ
マセヌガ、結局ハ利害ノ比較問題トナルト
思フノデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ
スカラ、ソレヲ豫期シテ、第三取得者ハ之
ヲ取得セネバナラヌノデアリマスカラ、第
三取得者ノ權利ヲ不測ニ害スルコトハナイ
ト思ヒマス、強ヒテ申セバ、サウ云フモノ
ダト云フト、第三取得者ニ賣ルコトノ不便
ガアルト云フコトニナリマスガ、既ニ債務
云フモノガ、此抵當ニ付テハ、債務者カラ
言ヘバ、此抵當權ノ一部ト云フモノハ辨濟
シテ居ル、或ハ利子モ辨濟シテ居ル、デア
ルカラ此不動產ノ負擔ト云フモノハ、現在
ノ登記ヨリハ非常ニ輕クナシテ居ルト云フ

論不便デアリマスガ、是ハドウモ已ムヲ得
ナイコトデハナイカト存ジマス、ソコデ例
へバ二番三番ノ抵當權ヲ持シテ居ル者ハ、マ
ア結局ハ成ルベク早ク辯濟シテ第一抵當權
ヲナクナラシテシマフト云フヤウナ時ノ便
宜ヲ失フト云フ御話ト存ジマスガ、茲ニ申
シマシタヤウニ、是ハ無記名裏書ヲ禁止シ
テ居リマス、利子ノ支拂デアリマストカ云
フヤウナ時ニハ、大抵ハ利子ハ無論證券ノ
所持人ガ取りニ參リマスノデスカラ、多ク
ハサウ云フヤウナコトデモ分ルト思ヒマ
ス、又是ハサウ多數ノ人ノ間ニ轉々スル譯
ノデアリマセヌカラ、追究スレバ殆ド分ラ
ナイコトハナイグラウト思ヒマス、御想像
ノ如クニ非常ナ不便ハナイト思ヒマス、假
リニ不便ガアルト致シマシテモ、登記簿ニ
デハアリマセヌカラ、追究スレバ殆ド分ラ
ナイコトハナイグラウト思ヒマス、御想像
ノ如クニ非常ナ不便ハナイト思ヒマス、假
リニ不便ガアルト致シマシテモ、登記簿ニ
ハ抵當證券ヲ發行シタト云フ記載ガアリマ
スカラ、ソレヲ豫期シテ、第三取得者ハ之
ヲ取得セネバナラヌノデアリマスカラ、第
三取得者ノ權利ヲ不測ニ害スルコトハナイ
ト思ヒマス、強ヒテ申セバ、サウ云フモノ
ダト云フト、第三取得者ニ賣ルコトノ不便
ガアルト云フコトニナリマスガ、既ニ債務
云フモノガ、此抵當ニ付テハ、債務者カラ
言ヘバ、此抵當權ノ一部ト云フモノハ辨濟
シテ居ル、或ハ利子モ辨濟シテ居ル、デア
ルカラ此不動產ノ負擔ト云フモノハ、現在
ノ登記ヨリハ非常ニ輕クナシテ居ルト云フ

○水上長次郎君 ソレデハ此讓渡ト云フモ
ノハ裏書ニ依シテ爲スト云フ理由ハ、唯證券
ヲ圓滑ニ流通セシムルニハ、少シデモ手數ヲ
掛ケルヤウナコトガアッテハ之ヲ妨ゲルカ
ラ、斯ウ云フコトニシタノデアルト云フコ
トニ歸スル譯デスナ

○政府委員(長島毅君) 大體サウデアリマ
ス

○水上長次郎君 ソレカラ先程ノ御答ヘ中
ニハ、裏書ニ依ラズ、登記ニ依ラナケレバ
讓渡シヲスルコトガ出來ナイト云フコトニ
セズトモ、第三者タル抵當ノ不動產ニ付テ
權利ヲ有シテ居ル者、又或ハ有セムトスル
者ニ大シタ利害關係ハアルマイカノヤウナ
御答デアリマシタガ、例ヘテ申シマスレバ、
債權ノ一部ノ支拂ヒ又ハ利子ノ支拂ヒデ
ス、是ハ證券ニ直接ニソレヲ記載シテ、直
グニ效力ガ發生スルノデアッテ、其他ハ登記
ニハ一切ヲ書カナイ本法ノ規定ニ依リマス
ト……抵當ノ目的物タル物件ヲ買入レルト
モアリマスマイケレドモ、ナカ／＼而倒デ
アラウト思フ、場合ニ依ッテハドウシテモ分
ラヌヤウナコトモアルカモ知レメト思フ、
サウスルト云フト其抵當權ノ目的物タル不
動產ニ付テ、利害ノ關係ヲ有スル者ハ甚ダ
不便デアル、ダカラシテ讓渡ハ登記ヲシナ
ケレバ其效力ガナイト云フ考ヲ持シテ居ルノデア
リマスガ、併シドウシテモ讓渡ニ依ッテ效力
ヲ生ズルヤウニシナケレバナラナイト云
フ、何カ確タル理由ガアリマスレバ、ソレ
ヲツキナラシテシマフト云フヤウナ時ノ便
宜ヲ失フト云フ御話ト存ジマスガ、茲ニ申
シマシタヤウニ、是ハ無記名裏書ヲ禁止シ
テ居リマス、利子ノ支拂デアリマストカ云
フヤウナ時ニハ、大抵ハ利子ハ無論證券ノ
所持人ガ取りニ參リマスノデスカラ、多ク
ハサウ云フヤウナコトデモ分ルト思ヒマ
ス、又是ハサウ多數ノ人ノ間ニ轉々スル譯
ノデアリマセヌカラ、追究スレバ殆ド分ラ
ナイコトハナイグラウト思ヒマス、御想像
ノ如クニ非常ナ不便ハナイト思ヒマス、假
リニ不便ガアルト致シマシテモ、登記簿ニ
ハ抵當證券ヲ發行シタト云フ記載ガアリマ
スカラ、ソレヲ豫期シテ、第三取得者ハ之
ヲ取得セネバナラヌノデアリマスカラ、第
三取得者ノ權利ヲ不測ニ害スルコトハナイ
ト思ヒマス、強ヒテ申セバ、サウ云フモノ
ダト云フト、第三取得者ニ賣ルコトノ不便
ガアルト云フコトニナリマスガ、既ニ債務
云フモノガ、此抵當ニ付テハ、債務者カラ
言ヘバ、此抵當權ノ一部ト云フモノハ辨濟
シテ居ル、或ハ利子モ辨濟シテ居ル、デア
ルカラ此不動產ノ負擔ト云フモノハ、現在
ノ登記ヨリハ非常ニ輕クナシテ居ルト云フ

コトヲ主張スルニ違ヒナイ、サウスレバ、

ソレヲ目當トシテ高ク買フト云フヤウナコ

トガ出來テ來ルダラウト思フ、若シ其時ニ登

記ニ其コトガ立派ニ書イテアレバ、債務者

ハサウ云フ主張モ出來ナシ、又買フ人モ

登記ヲ信ジテ、登記ニ書イテアル以外ノ債

權ト云フモノハナイ、又以外ノ變更ト云フ

モノモナイト云フコトヲ確信シテ、安心シ

テ取引ヲスルコトガ出來ルト云フモノガ幾

ラモアラウト思フ、又第二第三ノ抵當者ニ

シテモ同様デアリマス、最初抵當證券ヲ發

行シタ折ニ、一万圓ノ債權トシテ抵當ヲシ

タ所ガ、途中ニ至ラテ五千圓若クハ七千圓ノ

金ヲ辨濟シタト云フ場合ニ、其事ハ證券以

外ニハ分ラナイ、サウスルト折角負擔ノ輕

イ土地ヲ持テ居ル債務者ガ、其土地ヲ利用

シテ金融スルト云フコトノ途ガ大變狹ク

ナシテ來ヤセナイカト思フ、賣ルニシテモ、

第二、第三ノ抵當權ヲ賣ルニシテモ、ドウ

シテモ出來ナイ、金ヲ貸サウト云フ者、買

ハウト云フ者ガ承知ラシナイ、サウスレバ

折角立派ナル價値ノアル不動產ヲ持テ居ラ

テモ、所謂是ハ實ノ持腐レデ以テ、甚ダ所

有者ニ對シテハ迷惑至極ナコトデアラウト

考ヘルノデアル、ソレヲドウカ救濟スルノ

方法ガアリハシナイカト實ハ考ヘマシタノ

デ、今御尋ヲ致シタノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 二十五條ニハ成

程、元本ノ一部ノ支拂ガアリマスレバ、證

券ニサウ云フコトヲ書カネバナラヌ、書イ

テ判ヲ捺サネバナラヌト云フコトガアリマ

スガ、併ナガラ無論登記シタ元本變更ノ登

記ヲ申請スル權利ハアルモノデアリマス債

務者ニ……ソレデアリマスカラ變更ノ登記

ヲシテ吳レト言ヘバ債權者ハ應ジナケレバ

ナラヌ、二十五條ハ、手形同様ニ辨濟ヲ

受ケタ證據ニハ斯ウ云フコトヲシナケレバ

ナラヌト云フノデアリマシテ、變更ハ十六

條ニ依テ……是ハ對抗問題デアリマスカ

ラ、稍、達フカモ知レマセヌガ、兎ニ角十六

條ニ依テ「不動產登記法ノ定ムル所ニ從ヒ

其ノ登記ヲ爲シ且抵當證券ノ記載變更ヲ爲

ス」ト云フ風ニナレバ變更デアリマスカラ、

ソレハ無論債務者ノ方カラ、登記簿ノ記載

ノ變更ヲ要求スルヤウナコトハ出來ル、登

記ノ問題ヲ離レルノハ讓渡ノ場合ダケデア

リマス

○水上長次郎君 今申上ゲマシタ一部ノ辨

濟若クハ利子ノ支拂ニナレバ、登記ノ抵當

權ノ變更ニナルノデス

○政府委員(長島毅君) 私ハ元本ト混同イ

ト云フ命令的ノヤウニチヨット解セラレル

ガ、利息ノ支拂ハ出來マセヌ、併ナガラソ

ナ意味デアルナラバ、其意味合デ以テ十六

條ノ規定ガ出來タト致シマスナラバ、ドウ

シテモ登記ヲ要スルト云フコトニセネバド

ウデアラウカト思フ、ソレヲチヨット……

○水上長次郎君 一部ノ支拂ノ場合ニハ、

十六條ニ依リマシテ、抵當權ノ變更トシテ

尾ヲ取ルヤウニ御聞エニナルト恐縮デスガ、

詰リ登記法ニシテモ、登記ヲシナケレバナ

ラスト云フコトハナイノデ、登記ヲシナケ

ナラヌ、二十條ハ、手形同様ニ辨濟ヲ

受ケタ證據ニハ斯ウ云フコトヲシナケレバ

ナラヌ、二十二條ハ、手形同様ニ辨濟ヲ

ソレハ債務者ノ請求ヲ待テスルノデハナ

イヤウニ思ハレマスガ、只今ノ政府委員ノ

御答デハ、債務者ガ請求スル必要

宜シイシ、請求ガナケレバ登記ヲスル必要

ガナイト云フコトノ御答ノヤウニ感ジマシ

タガ、ソレヲチヨットハッキリ……

○政府委員(長島毅君) 今ノ問題ハ、十六

條ノ規定ヲ寧ロ離レテ申上ゲマシタ方ガ混

雜ヲシナイデ宜シトイ思ヒマスガ、債務者

ガ辨濟ヲ致シマスレバ、無論辨濟シタ額ニ

付テ登記ヲスルノ……變更ヲ請求スル權利ガ

アルト思ヒマス、一般的ニハ……、ソレハ此

處デハ排斥シテ居リマセヌカラ、債務者ガ

登記簿ノ變更ノ請求ヲスルコトハ出來ルト

思ヒマス、尙ホ足リマセヌケレバ……

○水上長次郎君 十六條デアリマスルト、

登記ノ變更ハ、必ズ登記セナケレバナラヌ

○政府委員(長島毅君) 二十一條ト二十二

條ハ抵當證券ノ再交付ノ場合デアリマシテ、

即チ證券ガ非常ニ汚レタ、或ハ證券ガ無ク
ナッタ場合ノ再交付ノ規定ゴザイマス、證券
ノ無クナッタ場合ニ於キマシテハ除權別決
ガ必要デアリマシテ、除權判決ヲ致シマス
レバ證券ヲ再交付スルコトニナリマス、此
證券ノ再交付ハ手續ガ相當アリマスガ、多
少初メニ交付スル時トハ違ヒマスノデ、二
十二條ニ依ッテ命令、勅令デ別段ノ定メヲス
ルト云フコトニ致シタノデアリマス、二十
三條ハ是ハ矢張リマア廣イ意味ノ再交付ノ
意思デアリマシテ、詰リ抵當債權ガ辨濟ニ
ナッタ云フ意味デ一度登記ヲ抹消シマシ
テ、サウシテ抵當證券ヲ登記所ニ回収シテ
シマッタヤウナ時ニ其無效登記、今ノ辨濟ノ
登記ガ誤ミテ居タト云フヤウナ時ニ之ヲ回
復スル、サウ致シマスルト又抵當證券ヲモ
ウ一過渡サナケレバナリマセヌ、詰リ辨濟
ナドデ一度抵當證券ヲ回収イタシマシタノ
ハ、ソレガ間違ヒデアッタト云フノデモウ一
度出ス既定デアリマシテ、矢張リ再交付ノ
規定ニナリマス、二十四條ハ是ハ滌除ノ規
定デ、抵當證券ヲ發行シタ場合ニハ適用シ
ナイト云フ規定デアリマシテ、是ハ御承知
ノ通リ衆議院ニ於テチヨット議論ガアリマ
シタノデアリマスガ、表ニモゴザイマスヤ
ウニ抵當權ノ滌除ト云フモノノ數ハ非常ニ

少ナイノデアリマス、滌除ト云フノハ語弊
ガアッタカモ知レマセヌガ、滌除ガ債務マ
デ参リマス件數ト云フモノハ非常ニ少イノ
デアリマス、即チ増價競賣ノ登記件數ト云
フモノガ土地ニ付テハ三箇年平均二十件、
土地ノ箇數デ申セバ百五十、建物ハ五件、
箇數ガ十八ト云フコトニナッテ居リマシテ、
而モ競賣件數ト云フモノハ非常ナ件數ニ
ナッテ居リマスニモ拘ラズ、是モタシカ表ヲ
差上ゲテアリマス、増價競賣ノ數ト云フモ
ノハ非常ニ少イ數デアリマス、是ハ御承知
ノ如クニ實際ニ於キマシテモ抵當權ノ執行
ヲ妨ゲル爲ニ、此財產取得者ハ假登記ナド
デ財產取得者ヲ造リマシテ、サウシテ抵當
權ノ執行ヲ困難ナラシムル爲ニ用キルト云
フ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ單
ニ限テ居ル場合デアリマセヌガ、抵當證券
リ必シモ抵當證券ガ發行セラレテ居ル場合
ハ殊ニ抵當權ノ融通ヲ圓滑ニスルト云フ趣
旨ハ強ク含マレラ居リマス爲ニ、切メテハ、
抵當證券ヲ發行シテ居ル抵當權ニハ滌除ハ
適用シナイ方ガ宜イ、斯ウ云フコトニ致シ
タノデアリマスガ、本來カラ申セバ抵當權
全體ニ滌除ノ規定ハ要ラナイヂヤナイカト
思ツテ居リマス、二十五條ハ是ハサキチヨッ

ト水上委員ノ御質問ニ對シマシテ申上ゲタ
所デアリマスガ、抵當證券ノ所持人ハ元本
ノ一部又ハ利息ノ支拂ヲ受ケレバ、其證券
デアリマス、即チ増價競賣ノ登記件數ト云
フモノガ土地ニ付テハ三箇年平均二十件、
土地ノ箇數デ申セバ百五十、建物ハ五件、
箇數ガ十八ト云フコトニナッテ居リマシテ、
而モ競賣件數ト云フモノハ非常ナ件數ニ
ナッテ居リマスニモ拘ラズ、是モタシカ表ヲ
差上ゲテアリマス、増價競賣ノ數ト云フモ
ノハ非常ニ少イ數デアリマス、是ハ御承知
ノ如クニ實際ニ於キマシテモ抵當權ノ執行
ヲ妨ゲル爲ニ、此財產取得者ハ假登記ナド
デ財產取得者ヲ造リマシテ、サウシテ抵當
權ノ執行ヲ困難ナラシムル爲ニ用キルト云
フ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ單
ニ限テ居ル場合デアリマセヌガ、抵當證券
リ必シモ抵當證券ガ發行セラレテ居ル場合
ト云フト利子ヲ滌テ居リマス場合ニ、此
滞テ居ル利子ダケニ付テ抵當權ヲ實行シ
テ前者ニ償還請求ヲ致シマセヌト、此利子
ノ支拂ニ付テハ前者ニ償還請求ガ出來ナイ
コトニナリマス、サウ致シマスト元本ノ方
ハ辨濟期ガ參リマセヌカラ、而モ抵當物ハ
書人ニ對スル償還請求權ヲ失フコトニナルノ
デアリマス、一箇月内ニ要求ヲシマシテ支
拂ガアリマセスト、公證人カ執達吏ニ支拂
ノナイト云フ證明ヲサセルト云フコトニ
ナッテ居リマス、略ボ手形ノ拒絶證書ト同ジ

ヤウナ振合デアリマス、之ヲ致シマセヌト
前者ニ對スル償還請求權ヲ失フコトニナリ
マス、ソレカラ二十八條ハ此抵當證券ニ元
本ト利息ノ支拂ノ場所ヲ記載スルコトノ出
來ルヤウニ今度ハ規定ニナッテ居ルノデア
リマスガ、若シ支拂ノ場所ガアリマセヌケ
レバ手形ナドト同ジヤウニ、是ハ後ニ規定
ガゴザイマスガ、債權者ハ債務者ノ住所ヘ
持ツテ行ツテ其支拂ヲ要求致サナケレバナラ
ナイノデアリマス、是ハ御承知ノ如クニ手形
ノ所持人ガ何處ニ居ルヤ分リマセヌカラ、債
務者ノ方カラ持ツテ行ツテ支拂フコトハ出來
ヌカラ債權者ノ方カラ債務者ノ住所ニ持ツ
テ行カナケレバナラヌガ、現在ノ住所ガ知
レヌコトガアルト債權者ハ甚ダ困リマスカラ
、サウ云フ時ニハ登記簿ニ書イテアル住
所ニ支拂ヲスレバ宜シイ、斯ウ云フコトニ
ナツテ居ルノデアル、結局抵當證券ノ支拂場
所へ持ツテ行ク、支拂場所ガナイ、現住所モ
分ラナケレバ登記簿ニ記載シテアル住所ニ
請求スレバ宜イト云フコトニナッテ居ルノ
デアリマス、次ニハ二十九條デアリマスガ、
二十九條ニ依リマスト、今申シタヤウニ一
箇月内ニ債務者ニ請求ヲ致シマシテモ、債務
者ノ支拂ヲ致シマシテ、抵當券ノ
所持人ハ此支拂ガアリマセヌ時カラ五日内

ニ、各總テノ裏書人ニ對シテ通知ヲ致スコ
トニナッテ居リマス、此場合ニ其裏書人ハ抵
當證券ト引替ニ其支拂ガ出來ルコトニナル
ノデアリマス、是ハドウ云フ譯デサウ云フ
規定ヲ置キマシタカト申シマスト、一箇月
内ニ支拂ヲ致シマセヌト、ソレカラ先ヅ大
體申セバ二箇月、即チ辨濟期カラ三箇月内
ニハ競賣ノ申立ヲシナケレバナラヌコトニ
ナツテ居リマス、致シマセヌケレバ裏書人ニ
ドウシテモ償還請求ヲシヤウトスレバ、債
權者ハ其土地ヲ競賣ニ付サナケレバナラヌ
ト云フコトニナル、所ガ土地ニ致シマシテ
モ住宅ニ致シマシテモ、隨分競賣ノ時期ニ
依リマシテ値ガ違フコトガアリマス、餘リ
マスガ、併ナガラ多クナルコトハ大體ナカ
ラウト思ヒマスガ、併ナガラ増價競賣ヲシ
ナイデ其儘満足シタ者ハ多少アルカト思ヒ
マスガ、併ナガラ多クノ場合ヲ想像シマス
ト、其債權者ガ満足スル程度ノ價格デ、ソ
レダケノ差額デ、詰リ其債權者ガ満足スル
程度デ、詰リ自分ガ引受ケテソレガ實際ノ
價格ヨリ安ク引受ケラレナケレバ損デアリ
マス、サウデナケレバ寧ロソレ位ナラバ抵
當權者ニ辨濟ヲシテ綺麗ナモノニシテ債權
額ト其差額ダケヲ拂フト云フコトハ普通ノ
狀態デアラウト思フ、デスカラ滌除申出ヲ
スレバ其儘治マルト云フモノハ少ナカラウ
ト思ヒマスガ、其儘治マタモノハ分リマセ
ヌカラ、ソレハ無論ゴザイマセヌ調ベハ……
ガ全ク杜絶セラレルト云フコトニナッテ居

○水上長次郎君 二十四條ニ付テ御尋ヲ致
シマスガ、司法省ニ於カレテハ、滌除ニ依ツ
テ抵當不動產ヲ取得シタト云フ件數トカ云
ナツテ居リマス、致シマセヌケレバ裏書人ニ
ドウシテモ償還請求ヲシヤウトスレバ、債
權者ハ其土地ヲ競賣ニ付サナケレバナラヌ
ト云フコトニナル、所ガ土地ニ致シマシテ
モ住宅ニ致シマシテモ、隨分競賣ノ時期ニ
依リマシテ値ガ違フコトガアリマス、餘リ
マスガ、併ナガラ多クナルコトハ大體ナカ
ラウト思ヒマスガ、併ナガラ増價競賣ヲシ
ナイデ其儘満足シタ者ハ多少アルカト思ヒ
マスガ、併ナガラ多クノ場合ヲ想像シマス
ト、其債權者ガ満足スル程度ノ價格デ、ソ
レダケノ差額デ、詰リ其債權者ガ満足スル
程度デ、詰リ自分ガ引受ケテソレガ實際ノ
價格ヨリ安ク引受ケラレナケレバ損デアリ
マス、サウデナケレバ寧ロソレ位ナラバ抵
當權者ニ辨濟ヲシテ綺麗ナモノニシテ債權
額ト其差額ダケヲ拂フト云フコトハ普通ノ
狀態デアラウト思フ、デスカラ滌除申出ヲ
スレバ其儘治マルト云フモノハ少ナカラウ
ト思ヒマスガ、其儘治マタモノハ分リマセ
ヌカラ、ソレハ無論ゴザイマセヌ調ベハ……
ガ全ク杜絶セラレルト云フコトニナッテ居

分デ取得シ、抵當權ヲ自分デ取テシマッテ、
自分ガ相當値ガ出タ都合ノ良イ時ニ賣レル
ガ出来ナイト云フコトニナッテ居ルノデア
ヘル爲メ第二十九條ノ規定ヲ置イタ次第デ
アリマス
○水上長次郎君 二十四條ニ付テ御尋ヲ致
シマスガ、司法省ニ於カレテハ、滌除ニ依ツ
テ抵當不動產ヲ取得シタト云フ件數トカ云
ナツテ居リマス、致シマセヌケレバ裏書人ニ
ドウシテモ償還請求ヲシヤウトスレバ、債
權者ハ其土地ヲ競賣ニ付サナケレバナラヌ
ト云フコトニナル、所ガ土地ニ致シマシテ
モ住宅ニ致シマシテモ、隨分競賣ノ時期ニ
依リマシテ値ガ違フコトガアリマス、餘リ
マスガ、併ナガラ多クナルコトハ大體ナカ
ラウト思ヒマスガ、併ナガラ増價競賣ヲシ
ナイデ其儘満足シタ者ハ多少アルカト思ヒ
マスガ、併ナガラ多クノ場合ヲ想像シマス
ト、其債權者ガ満足スル程度ノ價格デ、ソ
レダケノ差額デ、詰リ其債權者ガ満足スル
程度デ、詰リ自分ガ引受ケテソレガ實際ノ
價格ヨリ安ク引受ケラレナケレバ損デアリ
マス、サウデナケレバ寧ロソレ位ナラバ抵
當權者ニ辨濟ヲシテ綺麗ナモノニシテ債權
額ト其差額ダケヲ拂フト云フコトハ普通ノ
狀態デアラウト思フ、デスカラ滌除申出ヲ
スレバ其儘治マルト云フモノハ少ナカラウ
ト思ヒマスガ、其儘治マタモノハ分リマセ
ヌカラ、ソレハ無論ゴザイマセヌ調ベハ……
ガ全ク杜絶セラレルト云フコトニナッテ居

シタ土地ニ對シテ滌除ヲ適用スルコトニナルト、ソレハ色ニ複雜ナル規定モ要シマセウケレドモ、又證券ノ流通上ニ多少ノ障礙ヲ與ヘルデアリマセウガ、土地ヲ利用スルト云フ方ノ利益ヲ能ク考へマシタナラバ一方ニ多少ノ不便ガアッテモ、是ハ許サレタ方ガ宜クハナイカト云フ感ヲ私ハ有ツノデアリマスガ、ソコデ御尋ラシタイノハ、凡ソ此抵當ノ負擔ヲ負フテ居ル土地ガ幾件幾筆アールカト云フコトハ、司法省ニ於テモ御調べニナツテ居ルコトニアラウト思フ、其土地ニ對シテ滌除ト云フコトハ、先程御話ノ通り其場合ハ統計ハ取^フテ居ラヌト云フコトデアリマスカラ、抵當不動產ヲ賣却シタト云フ件數ニ於テハ十分ニ御分リニナツテ居ルダラウト思ヒマス、抵當地所賣買ノ件數ガ分レバ滌除ガアラウガアルマイガ、兎毛角ルト云フコトデ賣買ガアッタモノト考ヘナダラウト思ヒマス、ケレバナラヌ、デアリマスカラシテ若シ司法省ニ於カレマシテ、抵當負擔ノ地所ノ賣買ノ數ハ凡ソドレダケ、其土地ヲ買受ケタ件數ハ何件、若シ分リマスルナラバ滌除デ以テ其地所ヲス^クリ取得シタト云フコトガ御分リニナレバ、之ヲ御示シ^フ願ヒタイ

○政府委員(長島毅君) 抵當權附ノ土地ノ賣買ガア
ガ、其土地ノ所有權登記ノ數ハアリマスガ、
抵當權附ノ土地ノ、所有權ノ移轉登記數ト
云フモノハ分リマセヌ
○水上長次郎君 抵當附ノ地所ノ賣買ガア
レバ必ズ登記ヲスル……
○政府委員(長島毅君) 登記ハアリマス
ガ、ソレハ統計表ニ出テ居リマセヌカラ、登
記簿ヲ一々今勘定シナケレバチヨット出セ
ナイ譯ニナリマスガ、其一々登記簿ヲ見テ
日本全國ノ、サウシテ其抵當權附ノ移轉登
記ヲ調べナケレバ分リマセヌ、サウ云フ統
計ガ取テアリマセヌカラチヨット申上、
ゲ兼ネマス
○水上長次郎君 イヤ、無ケレバ宜シウゴ
ザイマス
○政府委員(長島毅君) 是ハ私ノ想像デ
アフテ分リマセヌガ、實際ドウ云フ譯デ……
此方カラ滌除ノ通知ハ致シマスケレドモ、
愈々其第三取得者の方カラ値段ノ申出ヲス
ルト云フコトヲ、一體シナイノハドウ云フ
譯ダト云フコトヲ想像シテ見マスレバ、抵
當權附ノ地所ヲ買フ時ニハ、若シモ抵當權
ノ額ガ不動產ノ土地ノ額ヨリモ少ナケレバ
多クハモウ其辨債ヲシテシマッテ、第三者ト

シテノ辨濟ヲシテシマッテ、其土地ヲ取得ス
ルト云フコトニナルグラウト思ノデアリ
マス、又抵當權ノ額ガ抵當物ヨリ高イ時デ
アリマスト、ドウモ其危險ヲ背負^クテアリ
地ヲ買フト云フ人ハ殆ド私ハ少イグラウト
思フノデアリマスガ、強ヒテ考ヘレバサウ
云フ時ニデモ競賣ヲスレバ廉クナル、普通
ノ值^シハ何ダケレドモ、競賣値段^シ以テ廉ク
ナルト云フヤウナ考カラ、何カ其差額ヲ狙^ツ
テヤルト云フヤウナコトハアルカモ存ジマ
セヌガ、普通ノ場合デアレバドウシテモ抵當
權ノ方ガ多ケレバ金ヲ出ス者ハアリマセヌ
カラ買ヒマスマイシ、抵當權ノ方ガ少ナケ
レバドウモ僅カノ差額ノ關係^シデ儲ケヤウト
云フヤウナコト^シ取得スル人ハ少イノデ、
多クハ債權者ニ辨濟ヲシテ、サウシテ差額
ダケ^シ買スト云フノガ多カラウト思フノデ
スカラ、ソコデサウ云フ意味カラ申請ノ滌
除ト云フコトハ殆ドドウモナインデハナイ
カ、實際ヲ聞キマスルト云フト、滌除ト云
フヤウナモノハ多クハ債權者ヲ困ラセテ、
第三取得者ガ假登記ヲスルヤウナ場合ガ非
常ニ多イ、デアリマスカラ滌除ノ規定ヲ取
タガ爲ニ抵當權ノ目的物タル不動產ノ賣買
ヲ妨ゲルト云フヤウナ結果ニハ實際トシテ
ハナルマイト思フノデアリマス、滌除ノコ

トヲ離レマスレバ此前御答へ申シマシタヤ
ウニ、成程第三取得者ガ其抵當所有物ノ……
所持人ヲ知ルコトガ出來ナイト云フヤウナ
コトガアリマスカラ、多少ノ不便ハアリマ
セウウガ、大觀シテ見マスレバ、或土地ヲ
持ツテ居ル時ニ、其土地ガ圓滑ニ抵當ニ入ル
ヤウニスルト云フコトニ依ツテ、第三取得者
ニ賣ル方ガ少シ位邪魔サレタ所デ、其土地
ヲ融通ニ入レル所ノ邪魔ニナル程度ハ非常
ニ賣ル方ガ少シ位邪魔サレタ所デ、其土地
ヲ資金化スルト云フコトハ非常ニ少イノ
デ、一旦抵當ニ入レテ居ルモノヲ二重ニ、
第三取得者ニヤフテ融通スルト云フノハ、ド
ウモ考ヘナイデモ宜イノヂヤナイカ、見込
ノ相違デスケレドモ、私ハサウ云フヤウニ
考ヘテ居リマス

十五條ニ付テチヨット御尋未致シマスガ、此
條ニ依リマスト云フト、元本ノ一部又ハ利
息ヲ支拂ヒマス時ハ、其コトヲ證券ニ記名
ガ當事者間ハ勿論ノコト、他ノ人ニ對シテ
モ此辨濟ノ證明ニナルヤウニ解セラレルノ
デアリマス、所デ先程、モウ既ニ前ノ條ニ
ハナリマスケレドモ、牽連イタシマスカラ
御尋ネ致シマスガ、此元本ニ付テハ是ハ抵
當權ノ變更デアル、デアルカラ第六條ニ依
テ其コトヲ登記シナケレバ善意ノ第三者ニ對
抗スルコトガ出來ナイ、善意ト申シマシ
タノハ是ハ間違ヒデアリマス、第三者ニ對
抗スルコトガ出來ナイ、ソレデ元本ノ一部
ヲ辨濟スル時ニハ、其辨濟ノアッタコトガ登
記ニ依ラテ分ルカラシテ、別段譲渡ノ、證券
譲渡ノコトヲ一々登記簿ニ記載スル必要ハ
リマスト、元本ノ一部、利息ヲ支拂ウト云
フコトハ殆ド同様ニ見テ居ル、シテ又利息
ト云フモノヲ、債權證書ヲ發行スル時ニ延
滞シタ利息ト云フモノガアッタナラバ、或ハ
元本ニ加ヘルコトモアリマセウシ、又利息
トシテ加ヘルコトモアルカモ知レマセヌ、
サウスルト其後ニ至ラテ、其利息バカリノ支
拂ヲシタノデモ、矢張リ抵當權ノ變更ト云

ト看做スト云フコトニシテ居リマスガ、是ハ或ハ手形法ノ規定、若クハ制度ニ依ツテ斯ウ云フコトニセラレタノデアリマスカ、ソレニ拘ラズ特ニ此抵當證券ニ于テ斯ウ云フ特例ヲ設ケラレタノデアリマスカ、ソレヲチヨット……

○政府委員(長島毅君) 是ハ抵當證券ニ付テノ特例デアリマス、ソレハ前ニモチヨット御説明申上ゲマシタヤウニ、詰リ此抵當證券ト云フモノハ、辨濟期後三箇月以内デ競賣ノ申立てヲシナケレバナラヌモノデスカラ、利息タケノ辨濟期ヲ別ニ致シマスト、ソコニ非常ニ複雜ナ關係ヲ生ズル結果、茲ニ斯ウ云フ特ニ規定ヲ設ケタ次第デアリマス

○水上長次郎君 私ハ此程度ニ止メテ置キマス

○委員長(子爵伊東祐弘君) 御質問ガナケレバ三十條カラ四十條マデ議題ニ供シマス、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(長島毅君) 三十條ハ、是ハ矢張リ二十七條ト共ニ償還請求ノ前提條件ヲ規定イタシタモノデゴザイマス、抵當證券ノ所持人ハ債務者ノ元本ノ支拂ノアリマセヌトキハ、辨濟期カラ三箇月以内ニ抵當權

ラヌト、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデア
リマス、是ハ何故斯ウ云フコトニ致シマン
タカト云フト、前者ニ對シテ償還請求ヲ致
シマスノデアリマスカラ、抵當證券ノ所持
人ガ勝手ナ時ニ競賣ノ申立ヲシテ、サウン
テ其足リナイ部分ヲ前者ニ請求サレルト云
フノデハ、前者ハ誠ニ不安心デアリマス、
五年モ六年モ放々テ置イテ競賣ヲスル、ソ
レカラ前者ニ償還ノ請求ヲスル、即チ償還
ノ請求ガ來ルノデアルガ、ドウ云フ時期ニ
競賣サレルノデアルカト云フコトガ決マリ
マセヌデハ、前者ノ地位ガ非常ニ不安デア
リマスカラ、必ズ三箇月以内ニ競賣ノ申立
ヲシロト云フコトニ致シタノデアリマス、
手形ニ於テ矢張リ償還請求ノ期間ガ決シテ
居ルノト略ボ趣旨ガ似テ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ場合ニ依リマスト、ドウモ三
箇月以内ニ抵當物ヲ處分スルト云フコトハ
非常ニ不利益デアルト云フヤウナコトモア
リマスシ、又所持人が非常ニ遠方ニ居ルト
カ云フヤウナ關係カラ、三箇月以内ノ期間
内ニドウシテモヤレヌヤウナコトモゴザイ
マスカラ、サウ云フ場合ニハ三十條ノ二項
デ裁判所ニ其期間ヲ延バシテ貰フト云フコ
トノ請求ガ出來ルヤウニナッテ居ルノデア
リマス、尙ホ此裏書人全員ガ同意ヲ致シマ

シテ、此前者ノ全部ガ今賣ラレテハ困ル、モウ少シ長クシテ貰ヒタイト云フヤウナトキニ、所持人モ矢張リ又今賣ラテハ困ルト云フ場合デアリマスレバ延バシテ宜シイノデアリマスカラ、サウ云フ時ニハ已ムヲ得ザル事由ガアリマセヌデモ、裁判所ニ期間ノ仲長ノ請求ガ出來ル、三箇月ヨリモ期間ヲ延バシテ貰フコトガ出來ルト云フコトニアッテ居リマス、三十一条ハ償還請求ノ要件デアリマシテ、今申シタヤウニ二十七條ニ一箇月内ニ要求ヲ致シマシテ、支拂拒絶ノ證明ニ關スル書面ヲ求メル、ソレカラ辨済期カラ三箇月以内ニ競賣ノ申立ヲ致シマシタ其結果、ドウシテモ全部ノ辨済ガ得ラレマセスト、其得ラレマセヌ金額ダケニ付テ償還請求ガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、ソレデアリマスカラ詰リ自分ヨリ前者ニ償還ノ請求ヲ致シマスノニハ、二十七條ノ手續ニ依リマシテ、一箇月内ニ請求ヲシテ拒絶證書的ノモノヲ作ル、ソレカラ三箇月以内ニ競賣ノ申立ヲスル、斯ウ云フコトガ必要ナノデアリマス、ソレデ辨済ヲ得ナカッタ分ダケニ付テ詰リ此前者ニ請求ガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、所ガ、次ニ三十二條ノ規定ニ入リマスガ、場合ニ依ルト云フト、競賣

ノ申立ヲスルコトノ出來ナイ場合ガアリマス、抵當權設定者ガ無能力者デアルト云フヤウナ場合ニハ、其抵當權ノ設定ハマルデ無效デアル、或ハ其抵當權ノ目的物ガ無クナッテシマウ、例ヘバ家ガ焼ケテシマフト云フヤウナ時デアリマスト、競賣ノ申立ヲシテ延バシテ貰フコトニナッテ居リマス、三十一条ハ償還請求ノ要件デアリマシテ、今申シタヤウニ二十七條ニ一箇月内ニ要求ヲ致シマシテ、支拂拒絶ノ證明ニ關スル書面ヲ求メル、ソレカラ辨済期カラ三箇月以内ニ競賣ノ申立ヲ致シマシタ其結果、ドウシテモ全部ノ辨済ガ得ラレマセスト、此時ニハ裁判所ノ許可ヲ得マシテ競賣ヲシナイデ、直ニ償還ノ請求ガ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、第三十六條ハ抵當證券ス、其許可ノ申請ハ矢張リ辨済期カラ三箇月以内ニナサネバナリマセヌガ、此期間モ亦仲長ノ申請ガ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、三十三條ハ、是ハ今ノ期間延長等ノ裁判アドウ云フ手續デ何處ノ裁判所デヤルカト云フヤウナコトデアリマス、三十四條ハ、是ハ異議ノ申立ノ印紙代ノコトデアリマシテ、異議ノ申立ノ印紙代ニ付テノ規定デゴザイマス、例ヘバ三十二條ニ於テ申上ゲマシタヤウナ裁判、即チ期間延長ノ裁判デアリマストカ、例ヘバ異議ノ裁判ヲ致シマス場合ニ催告イタシマシタリ、又ソ失フノデハナクシテ、唯損害賠償……通知ノ所持人ハ裏書人ニ對スル償還請求權ヲヒマスガ、債務者ガ債務辨済ヲシナカッタ場合ニ、抵當權ノ目的物ヲ賣却シテ、以テ共支拂ニ當テルト云フヤウナ場合ハ、其債務ノ辨済期後如何ニ早クシテモ四箇月内ニ完了スルト云フコトハ恐ラクアルマイト私ハ想像スルノデアリマス、事實ハドウカ知リマセヌガ、私ノ想像デハサウ思ハレマ

カラシテ三十五條ハ今申シタヤウニ、愈々競賣イタシマスカ、又競賣ガ出來ナイトキトニ依リマシテ、愈々裏書人ニ請求ヲ致シキハ此三十二條ニ競賣ヲセヌデモ宜イト云マス場合ニハ、競賣イタシマシタキハ競賣金ヲ受取タトキ、競賣イタシマシタキハ競賣代金ヲ許可ヲ受ケタ日ヨリ五日以内ニ、各裏書人ニ償還請求ノ通知ヲスルト云フコトニナリマス、詰リ不意打ニナラヌヤウニ致シテ居ルノデアリマス、第三十六條ハ抵當證券ノ所持人ガ裏書人ニ對スル通知ハ、證券ニ記載シタル住所ニ宛テレバ宜シイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、裏書人ニ對スル通知ハ、此二十九條ニモゴザイマス、ソレカラ只今ノ所ニモニモゴザイマス、ソレカラテ、其外ハ大シタ違ヒハゴザイマセヌ、手形ト略ボ同様デアリマス、ソレカラ四十一條ハ、是ハ不動産登記法ノ規定ノ準用デアリマスガ、極ク細カイコトデアリマスカラ、或ハ御質問ガアリマシタナラバ御答スルコトニ致シタイト存ジマス

○水上長次郎君 三十條ニ付テチヨット伺ヒマスガ、債務者ガ債務辨済ヲシナカッタ場合ニ、抵當權ノ目的物ヲ賣却シテ、以テ共支拂ニ當テルト云フヤウナ場合ハ、其債務ノ辨済期後如何ニ早クシテモ四箇月内ニ完了スルト云フコトハ恐ラクアルマイト私ハ想像スルノデアリマス、事實ハドウカ知リマセヌガ、私ノ想像デハサウ思ハレマシ得ル金額ガ大體ドノ程度ノモノデアルカト云フコト、證券ノ所持人トソレカラ裏書人ガ前者ニ順次ニ償還請求ガ出來ル金高ハドンナモノダト云フコト、其範囲ヲ規定イタシタモノデアリマス、三十九條ハ此證券ニ關スル權利ノ時效ノ規定デアリマシテ、特ニ御説明ヲ申上ゲル程ノコトハゴザイマセヌ、ソレカラ四十條ハ、是ハ大體ハ手形ニ關スル規定ヲ準用スルコトニ致シタノデアリマシテ、大體ハ手形ト同ジヤウデアリマス、唯手形ノヤウニ、無記名裏書ヲ禁ジテ居ルト云フヤウナ點ガ違フノデアリマシテ、其外ハ大シタ違ヒハゴザイマセヌ、手形ト略ボ同様デアリマス、ソレカラ四十一條ハ、是ハ不動産登記法ノ規定ノ準用デアリマスガ、極ク細カイコトデアリマスカラ、或ハ御質問ガアリマシタナラバ御答スルコトニ致シタイト存ジマス

ス、ソコデ一ツ伺ヒタイノハ競賣處分ニ付シタ事件ハ、債務ノ辨濟期日ヨリドレ程經過シタモノガ多イデアラウカト云フコトノ御調ガアリハシマセヌカ、若シサウ云フ調べガアリマシタナラ一ツ拜見サシテ貴ヒタ

コトト思ヒマス、一般ノ債權ニ付テハ、サウ云フモノハゴザイマセヌ

シタモノガ多イデアラウカト云フコトノ御調ガアリハシマセヌカ、若シサウ云フ調べガアリマシタナラ一ツ拜見サシテ貴ヒタ

尋ネ致シマスガ、サウ云フモノニ付テ御調ベニナツタコトガゴサイマスカ

○政府委員(長島毅君) 結局ハ競賣事件ガドレ位カ、ツ完結スルカト云フ御尋ネト存ジマスガ、ソレハ御手許ニ競賣法ニ依ル競賣事件調ト云フノガゴザイマス、大體ハ是デマア御分リニナルコト存ジマスガ、

タモノハ大藏省ニハゴザイマセヌ

ト云フト、其證券所持人ト云フモノハ全ク權利ヲ失フテシマフ、普通ノ場合デアリマスト云フト、期間ガ到來シテ、三箇月、四箇月過ギヤウガ、幾日迄モ債權者ノ勝手デ、相當ノ時期ヲ見テ請求スレバ宜イノデア

ル、ダカラシテ債權者ニ對シテハ非常ナ利害關係ガアルダラウト思フ、又手形所持人ニシテモサウデアラウト思フ、全裏書ノ人ニ對シテ償還要求ヲスル必要ガアルカラシニシテモサウデアラウト思フ、

ト云フコトハ、短時日デアッテ、逆モサウ云ト云フコトハ實際出來マイト思フ、サウ云フコト思フ、ソレヲ考ヘマスルカラ、普通競賣

トコトハ、初メテ償還ノ請求ガ出來ルノデアリマスルカラ、之ヲ三箇月内ト致シマシテモ、之ヲ償還スル迄ニ相當ニ期間ガカ、

申立テヲスルノハ、辨濟期ノ到達ヨリ凡ソドレ程經過シタ後ニ申立ヲシタカト云フコトノ件數ヲ承知シタイト思フテ申出タノデ

アリマス、ソレガ分リサヘスレバ、普通ハアリマスカラシテ、想像ノミヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌカラ、是ハ其到達カラ競

アリマスカラシテ、想像ノミヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌカラ、是ハ其到達カラ競

ト云フト、其證券所持人ト云フモノハ全ク權利ヲ失フテシマフ、普通ノ場合デアリマスト云フト、期間ガ到來シテ、三箇月、四箇月過ギヤウガ、幾日迄モ債權者ノ勝手デ、相當ノ時期ヲ見テ請求スレバ宜イノデア

ル、ダカラシテ債權者ニ對シテハ非常ナ利害關係ガアルダラウト思フ、又手形所持人ニシテモサウデアラウト思フ、全裏書ノ人ニ對シテ償還要求ヲスル必要ガアルカラシニシテモサウデアラウト思フ、

ト云フコトハ、初メテ償還ノ請求ガ出來ルノデアリマスルカラ、之ヲ三箇月内ト致シマシテモ、之ヲ償還スル迄ニ相當ニ期間ガカ、

アリマスカラシテ、想像ノミヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌカラ、是ハ其到達カラ競

<p>許スコトト存ジマス、裏書人全部ガ宜シイ ト云フノニ何モ裁判所ガソレデモ競賣シロ スコト存ジマス、サウ云フ場合ヲ考ヘマ スト、結局抵當證券所持人ガ支拂ヒノナイ ト云フコトヲ裏書人ノ全員ニ通知ヲ致シマ シテ、競賣申立テヲスル、斯ウ云フヤウナ 場合ニハ裏書人ト云フモノハ矢張リ債務者 ノチヨット經濟的ニ申セバ保證人ノヤウナ 地位ニアルモノデスカラ、マア多クノ場合 テ賴ムト云フコトニナリヤシナイカ、期間 ヲモウ少シ延バシテ貴ヒタイ、其點ニナル ト云フト、殆ド抵當證券ガ出テ居ラテモ、出 テ居ラヌデモ、其期間ヲ延バシテ貴フトカ、 何トカ言フ場合ニ略ボ同ジコトニナリヤシ ナイカ、是ハ裏書人ガ數人居リマスレバ、 其意見ガ一致シナイノデ、債務者ノ方ノ歩 調ガ多少亂レルト云フコトハ是ハアルカモ 知レマセヌガ、兎ニ角總掛リデ以テ少シマ ア待シテ貫ヒタイト云フヤウナコトハ言ヘ ルダラウト思ヒマス、債務者ガ同意イタシ マセヌケレバ、抵當證券ガ出テ居ラヌデモ 同様ニナリマスカラ、債務者ガ承諾スレバ、 矢張リ延ビルト云フコトニナルノデ、餘リ 債務者ガ殘酷ナコトニハ實際ハナルマイト</p>	<p>思ヒマス、假ニ一步ヲ譲リマシテ、是ガ債 務者ニ殘酷ニナルト致シマシテモ、是ハド ト云フコトハアリマセヌカラ、是ハ恐ク許 ス、初メニ金ヲ借リル、時ハ便利ニシテ置 イテ、借りテシマッタナラバ、今度ハ債務者 ニ對シテ成ルダケ寛大ト云フコトニ行ケレ バ都合ガ宜シイノデアリマスケレドモ、ソ レハ出來マセヌノデアリマス、融通ノ便利ニ シヤウツスルニハ、ドウシテモ債務者ノ 権利ヲ強クシテ置カナケレバ融通ノ便利ニ ナラヌト思フノデアリマス、現在ノ實情ヲ 觀マスト、多少ハ重イ負擔デモ金ガ澤山低 利デ借リラレルト云フ方ガマア宜イグラウ ト云フノデ、斯ウ云フ規定ガ出來タノデア リマシテ、御說ノヤウナコトハ相當衆議院 デモ研究イタサレタ所デアリマス</p>
<p>○水上長次郎君 チヨット大藏省ノ方ノ方 ニ御伺ヒ致シマスガ、此間御尋ネシタ中ニ、 勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行ノ三行ニ付 テデゴザイマスガ、借金ニ對スル抵當權、 抵當附ノ不動產ヲ賣却シタ場合ハ百分ノ一 マスガ、三銀行ノ貸金ニ對シテ、辨濟期ニ 必ズ辨濟シタモノバカリデモアルマイト思 ヒマスガ、ドウセソレノ延期トカ何トカ云 ヒマスガ、ドウセソレノ延期トカ何トカ云 フコトガアルト思ヒマスガ、其歩合ハドウ デスカ、辨濟期ニ文句ナシニ拂タモノト、 又延期シテ……一度ナラズ二度モ延期シテ</p>	<p>ヨリ百分ノ一厘ノ不動產賣却ニナタ場合 ニハ、凡ソドレ程ノ日數ガカカッテ居ルカ、 辨濟期ヨリ完濟期迄ガ、其御調べニナッテ居 ルモノガアリマスレバ、一ツ御示シヲ願ヒ タク、御分リニナリマシタカ、辨濟期到達 カラ、辨濟完了迄ノ日數……</p> <p>○政府委員(大久保慎次君) 過日大體ノ辨 濟期到達後、所謂延滞ニナリマシタ率ト、 其延滞ノ中デ競賣ニナリマシタ率トヲ大體 統計ヲ取テ居リマスカラ申上ゲタ次第デ スガ、只今ノ御尋ハ辨濟ガ出來ナクテ所謂 延滞ニナッテ、其事件ガ結果ヲスルマデハ何 日ニナルカト云フ御趣旨ノ御質問ト思ヒマ スガ、不幸ニシテ其方ノ調べハ出來上ラテ居 リマセヌノデゴザイマス、民間ノ銀行ニ付 テ件數調べハ出來テ居リマスケレドモ、日 ニチノ方ハ、關係ハ餘程種々雜多グラウト 思テ居リマシタ、別段統計ハ取テ居リマ セヌ次第デアリマス</p>
<p>○水上長次郎君 チヨットソレニ付テ伺ヒ マスガ、三銀行ノ貸金ニ對シテ、辨濟期ニ 必ズ辨濟シタモノバカリデモアルマイト思 ヒマスガ、ドウセソレノ延期トカ何トカ云 ヒマスガ、ドウセソレノ延期トカ何トカ云 フコトガアルト思ヒマスガ、其歩合ハドウ デスカ、辨濟期ニ文句ナシニ拂タモノト、 又モウ一ツ伺ヒタイノハ、辨濟期ノ到達</p>	<p>後ニ拂タト云フ場合ト、其比較デモ御調べ ニナッテ居ルモノガアリマスレバ、拜聽イタ シタイト思ヒマス</p> <p>○政府委員(大久保慎次君) 勸業銀行法等 ノ立前ハ御承知ノ通り大體年賦ガ原則デゴ ザイマス、ズット年賦デ何年間ノ中ニ完濟ス ルト、斯ウ云フ風ナ取扱方ニナッテ居リマス ノデ、其辨濟ノ方法ハ至シテ成績良好ニナッ テ居リマスコトハ、過般來百分ノ二位デゴ ザイマススト云フコトヲ申上ゲタコトデモ御 諒承願ヘルカト思ヒマス、勿論其中ニ付テ 只今仰セノヤウニ、途中色ニナ關係カラシ テ一部ヲ辨濟イタシマシテ、ソレカラ後ト ハ又約束デ以テ年賦ノ仕直シヲスルト、斯 ウ云フ風ナ事例ハナイ譯デゴザイマセヌノ デスケレドモ、全體ノ數字カラ見マスルト 比較的少イ數デアラウト思ヒマス、大體ニ 不動產ニ對シマスル負擔ハ極ク寛大ニ、緩 和ニ出來テ居リマス次第デゴザイマスカ ラ、債務者ノ償還能力、詰リ其不動產カラ 舉ガル所ノ収益歩合其他色ミナ規定ガ、勸 業銀行法等ニハ可ナリヤカマシク出來テ居 リマスカラ、成績ハ割合ニ好イト、斯ウ云 フ結果ニナッテ居リマス、只今仰セノ所謂辨 濟ヲ約束通リニシタ中ニ付テ、何カ事故附 ノモノハ幾ラアルカト云フ風ナ御趣旨ノ統</p>

計ハ實ハ取テ居リマセヌ次第アリマス、併シ大量觀察的ニ之ヲ申上ゲマスト比較的其數ハ少イ數字デアリマス、百分比例等ニ著シク目立テ出テ來ルモノデナカラウトザイマス

云フヤウナ印象ヲ有テ居リマス次第ゴザイマス

○水上長次郎君 モウ質問ハ是デ宜シイ

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデヤ午前ハ休憩イタシマシテ、午後ハ御都合ガ宜ケレバ一時半ガ開會イタシマス

午後零時十四分休憩

午後二時七分開會

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデハ是ヨリ午前ニ引續キマシテ特別委員會ヲ開會イタシマス

○水上長次郎君 チヨット伺ヒタイト思ヒ

マスガ、此第七條、本條ハ異議ヲ申立ルニ付テノ理由ヲ列擧シタ簡條デアリマス、其

第四號「債務者ガ抵當權者ニ對シ相殺テ以テ對抗シ得ベキ債權ニシテ」云々、斯ウ云フ

コトガアリマス、是ハ明文ニ依レバ分リ切、タコトデハアリマスルガ、抵當證券交付ノ申請ヲスルニ付テハ、債務者ヨリ證券發行ノ特約ガアルカ、又ハ同意ガナケレバ出來ナイト云フコトハ、前數條ノ中ニ規定シテアル、デアリマスルカラ、證券交付ニ付テ

債務者ガ兎ヤ角故障ヲ言フト云フコトハ、或ハ前ノ同意ガ間違テ言シタ場合デアル

力、或ハ故意デアルカ、或ハ又其抵當物件ニ對シテ利害ノ關係ヲ有シテ居ルモノノ遺族トカ、或ハ懇願ニ依テスルカ何カノ場合デナケレバ想像セラレヌグラウト思フ、本號ニ記載シテアル場合ノ如キ、即チ債務者ガ抵當權者ニ對シ相殺ヲ以テ對抗シ得ベキ

債權が現ニアリ、サウシテ其期限ガ到来スルヤウニナレバ、ソレハ初メカラ分ッテ居ル譯デアル、デアリマスルカラ、チヨット此四號ノ場合ハ想像セラレタヤウニ感ゼラレマスガ、此點ニ付テ一ツ伺ヒタイ、ソレカラノ第一號カラ第四號マデ、ソレカラ、アト

二項、三項ト此場合ニハ皆出來ナイノデス、併ナガラ此場合理由ノ事項ノ中ニ、一見シテ出來ナイト云フコトガ分ル場合ト、又非

モウ一つハ、異議ノ申立ト云フモノハ七條ノ第一號カラ第四號マデ、ソレカラ、アト

ジタ場合ノコトヲ主ニ想像シテ出シテ居リマス、即チ抵當證券發行ヲ特約イタシマシ

タ當時ニハ斯ウ云フ債權ハアリマセヌガ、其後ニ反對債權ヲ生ズルヤウナ場合ガアリ

マスカラ、サウ云フ時ガ實益ガアルノデアリマス、ソレバカリデハアリマセヌガ、主ニサウ云フ場合ニ實益ガアルノデアリマス

ス、ソレカラ異議ヲ成程濫發スルト云フコトハ多少アルカモ存ジマセヌガ、サウ云フ

ヤウナ場合ニハ、ソレハ登記官吏ガ直グニ

判斷シテ是ハ不當ダト云フコトヲ言ハレマラヌ事項トアルノデス、一見シテ明瞭ナル

テアリマス、ソレカラ異議ヲ成程濫發スルト云フコトハ、是ハドウシテモ裁判ニ掛ケナケレバ

ガ付カナイ、ドウシテモ裁判ニ掛ケナケレバ

カラ已ムヲ得ナイノデアリマス、而シテ異

券發行ニ當テ特約若クハ同意ヲ與ヘテ置キナガラ、謂ハレナク異議ヲ申立テテ、サ

ウシテソレヲ裁判ニ掛け、裁判ト云ウタ所ニ對シテ利害ノ關係ヲ有シテ居ルモノノ遺族トカ、或ハ懇願ニ依テスルカ何カノ場合デナケレバ想像セラレヌグラウト思フ、本思ヒマスルガ、其點ニ付テハドウ云フモノスルト云フヤウナ弊害ガアリハシナイカトシテ、異議ノ爲ニ徒ラニ發行ノ時日ガ遷延デサウ急ニ埒ガ明クモノデアリマセヌカラ

スルト云フヤウナ弊害ガアリハシナイカトデアリマスカ、チヨット伺ヒマス

○政府委員(長島毅君) 第七條ノ第四號ハソレバカリデハアリマセヌガ、主ニ此抵當證券發行ノ特約後ニ於テ斯ウ云フ債權ヲ生

ジタ場合ノコトヲ主ニ想像シテ出シテ居リマス、即チ抵當證券發行ヲ特約イタシマシ

タ當時ニハ斯ウ云フ債權ハアリマセヌガ、

其後ニ反對債權ヲ生ズルヤウナ場合ガアリ

マスカラ、サウ云フ時ガ實益ガアルノデア

リマス、ソレバカリデハアリマセヌガ、主ニサウ云フ場合ニ實益ガアルノデアリマ

ス、ソレカラ異議ヲ成程濫發スルト云フコトハ多少アルカモ存ジマセヌガ、サウ云フ

ヤウナ場合ニハ、ソレハ登記官吏ガ直グニ

判斷シテ是ハ不當ダト云フコトヲ言ハレマラヌ事項トアルノデス、一見シテ明瞭ナル

テアリマス、ソレカラ異議ヲ成程濫發スルト云フコトハ、是ハドウシテモ裁判ニ掛ケナケレバ

ガ付カナイ、ドウシテモ裁判ニ掛ケナケレバ

カラ已ムヲ得ナイノデアリマス、而シテ異

議ニ對スル裁判ハ非訟事件手續法デアリマスカラ、幾分簡單ニナルカト存ジマス、尙ホスウ云フ裁判ハ成ルベク早クヤリマスヤ

ウニ相當努力ヲ致ス積リデ居リマス

○水上長次郎君 此異議ノ申立ガアリマシタ場合ニ、其理由トシテ掲ゲテ居ルコトガ

第七條ノ各項ニ相當シナイ時ニハ、無論登記官ハ勝手ニ棄却デアリマスカ、却下デアリマスカ、受附ケナイト云フコドハ絶對ニ

リマスカ、即チ抵當證券發行ノ時日ガ遷延出来ナインデスネ

○政府委員(長島毅君) 法律ノ上デハ五條ノ場合ノミデアリマス、五條ノ場合、例ヘ

バニ條ニ規定スル理由アル時ニ於テハ無論是ハ却下ハ出來マスガ……ソレカラシテ三

號ノヤウナ場合モゴザイマスカラ、多クハ矢張リ此五條ニ規定スル場合ト一致シテ居リマシテ、其限度ニ於テハ無論登記官吏ダケデモ出來ルコトニナツテ居リマス

○水上長次郎君 ソレハ五條ノ方ハ大體證券交付ノ申請ノ場合デアル、ソレカラ七條ノ場合ニハ交付ニ關スル異議ノ申立ノ場合

デアル、第五條ノ方ハ成程ソレハ當然登記官吏ガ出來ル、七條ノ場合……異議デスヨ、

申請デナクシテ異議ノ場合デスヨ

○政府委員(長島毅君) 却下ハ出來マスガ

異議ノ裁判ハ是ハ登記官吏ニハ絕對ニ出來

案、民事訴訟用印紙法中改正法律案、是ハ抵當證券法ノ制定セラレマシタ當然ノ改正、大部分ヲ占メテ居ルヤウデアリマスカラ、一括シテ御説明ヲ願ッテ宜カラウト思ヒマス、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(長島毅君) 不動産登記法中ノ改正法律案ハ非常ニ細カイ、非常ニ些細ノ手續上ノ問題デアリマスカラ、極ク大體ノ事項ヲ二三擷摘要ニ御話ヲ致シタイト存ジマス、二十八條ハ抵當證券法二十八條ニ對應シテ居ル規定デゴザイマシテ、抵當證券法ノ方デハ元本等ノ支拂ハ支拂場所ノ記載ガアレバソコデ支拂フ、無ケレバ債務者ノ現時ノ住所デヤルノデアリマスガ、住所ガナケレバ登記簿ニ記載シタル住所デ支拂ノ請求ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデ、支拂ト云フコトヲ言ヒマシタノハ少シ悪カッタカモノ知レマセヌ、抵當證券ノ支拂ノ請求ハ詰リ支拂場所デヤルノデアリマスガ、支拂所ガナケレバ債務者ノ現時ノ住所デヤル、ソレガ分ラナケレバ登記簿ニ記載シタル住所ニ於テ支拂ノ請求ヲ爲ス、サウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ債務者トシテハ登記簿ノ方ノ債務者ノ住所ト云フモノヲ、場合ニ依リマスト訂正ヲ致シテ置キマス必要ヲ生ズルノデアリマス、ソレ

デサウ云フ關係カラ二十八條ノヤウナ規定ヲ特ニ登記簿ノ中ニ加ヘマシタ次第アリマス、ソレカラ五十六條ノ改正、六十五條ノ改正、ソレカラ八十一條ノ改正等ハ是孰レモ利害關係人ノ中ニ抵當證券ノ所持人ト、ソレカラシテ裏書人ヲ大體ハ入レルト云フ關係デアリマス、例ヘバ五十六條ニ付テ見マスト云フト、權利ノ變更ノ登記ニ付、登記上ノ利害關係ヲ有スル第三者ガアル時ニハ其者ノ承諾書トカ、承諾ヲシナケレバ之ニ對抗スベキ裁判所ノ判決ノ勝訴ノ體本、斯ウ云フモノヲクッ附ケルト云フコトガ五十六條ノ意味ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ時ニ唯是ハ登記上ノ利害ノ關係ヲ有スル第三者トアリマシテ、是ハ耕地整理法ノ所デ申上ゲマシタヤウニ、抵當證券ノ所持人ト裏書人ト云フモノハ別段登記イタシテ居リマセヌ、登記上ノ利害關係人ニナリマセヌノデ、矢張リ之ヲ附加ヘタノデアリマス、結局利害關係ヲ持テ居ル者ノ中ニ之ヲ加ヘマシテ、五十六條ノ場合ハ登記權利ノ變更ノ登記ヲスル時ニ抵當證券ノ所持人、裏書人ノ同意ガ要ルト、斯ウ云フ風ナコトニ致シタノデアリマス、六十五條ハ抹消登記ノ回復デアリマス、ソレカラ飛ビマシテ八十一條ハ是ハ抵當券ノ目的物ソレ自

クテ抵當權ノ目的物ソレ自身、變更ノ場合、
何レモ此八十一條モ五十六條モ同ジヤウナ
權利ノ變更ニナルノデアリマス、斯ウ云フ
場合ニ今申シタヤウニ、サウ云フ登記ヲス
ル時ニハ、抵當證券ノ所持人トカ裏書人ノ
同意ガ要ルト云フコトヲ大體明カニ致シテ
居ルノデアリマス、モウ一つハ權利ノ變更
ヲ致シマス時ニハ、抵當證券ヲ其申請書ニ
クッ附ケテ來イト云フ規定デアリマス、是ハ
前ノ抵當證券法デ御話ヲ致シマシタヤウ
ニ、此抵當證券ノ記載ヲ變更スルノニハ、
登記ノ變更ヲシナケレバ第三者ニ對抗スル
コトガ出來ナイト云フ規定ガアリマス結
果、詰リ登記ノ變更ト抵當證券ノ變更トヲ
ウマク一致サセル爲ニ登記ノ變更ノ申請ノ
時ニハ抵當證券ヲ必ズ出シテ來イ、斯ウ云
フコトニ致シタノデアリマス、サウスルト
登記ノ申請ニ依シテ登記ヲ直セバ、ソレト一
緒ニ抵當證券モ亦直シテ返シテヤルト云フ
方針ヲ執リマシタノデ、詰リ抵當證券法ノ
規定ト相照應シテ居ル規定デゴザイマス、
ソレカラ百十七條ノ改正ハ、不動產登記法
ノ百十七條ハ、是ハ抵當權ノ登記ノ結果内
容ヲ規定シテ居ルノデアリマスガ、其中ニ
元本ト利息ノ支拂場所ノコトヲ矢張リ登記

事項ニ致シマシタ、ソレハ前ニ抵當證券法場所ヲ抵當證券ニ記載シテ其處デ拂ヘルヤウニ致シマシタ結果、登記ノ方ニモ之ヲ記載事項トシテ置カナケレバナリマセヌカラム、サウ云フコトニ致シタ次第アリマス、ソレカラモウ一つハ抵當證券發行ノ定メト云フモノヲ、矢張リ百十七條ノ記載事項ノ中へ一緒ニ記載スルコトニ致シタノデアリマス、即チ抵當證券發行ノ特約ガアレバ、其特約ヲ矢張リ抵當權設定登記ノ中へ一緒ニ登記ガ出來ルト云フコトニ致シタ次第アリマス、ソレカラ百十九條ノ二ハ或ハ御質問ニ應ジテ御説明ヲ申上ガ夕方ガ宜シイカト思ヒマス、非常ニ細カク唯單純ニ手續ノ事柄デスカラ略シタイト存ジマス、百二十六條ノ三ハ、是ハ抵當證券ヲ發行イタシマスト登記簿ニ抵當證券ヲ發行ヲシタト云フコトノ記載ヲ致シテ置クノデアリマス、是ハ水上委員カラモ御質問モアリマシタヤウニ、抵當證券ガ發行サレテ居ルト云フコトハ第三取得者ニモ多少利害關係ノアリマス要上抵當證券ガ發行サレテ居ルト云フコトニ書クヤウニナッテ居ルノデアリマス、其他ハ大體餘り細カイコトデアリマス、
ヲ登記簿ニ書クヤウニナッテ居ルノデアリマス、
コトデスカラ、第三者ヲ保護スルト云フ必
要上抵當證券ガ發行サレテ居ルト云フコトニ書クヤウニナッテ居ルノデアリマス、
コトデスカラ、第三者ヲ保護スルト云フ必
要上抵當證券ガ發行サレテ居ルト云フコトニ書クヤウニナッテ居ルノデアリマス、

スカラ略シタイト思ヒマス、ソレカラ民事訴訟法中ノ改正法律案デゴザイマスガ、六百四十三條ノ改正ハ、是ハ地租法ノ改正ニ伴フノデアリマシテ、別ニ御説明ヲ要スルコトモナイト思ヒマス、六百四十八條、是ハ利害關係人ノ申ニ抵當證券所持人ト裏書人ヲ加ヘマシテ、例へバ競賣期日ノ通知ナドヲ抵當證券ノ所持人ニモ致サネバナラヌト云フ趣旨ヲ明ニ致シタ次第デアリマス、

六百九十八條ノ規定ハ、是ハ配當手續ノ場合ノ規定デアリマシテ、細カイ規定デアリマスカラ御説明ヲ申上ゲル程ノコトハナイト存ジマス、競賣法ノ規定ハ二十四條第三項ノ改正ハ、是ハ結局競賣ノ申立ヲ致シマス場合ニ、抵當證券ノ所持人ハ抵當證券ヲ一緒ニ出サネバナラムト云フコトデ、是ハ當然ノコトデアリマス、抵當證券ヲ出シマシテソレデ競賣ノ申立ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、二十七條三項ノ改正、矢張リ是ハ利害關係人ノ申ニ抵當證券ノ所持人等ヲ入レマシタノデ、結局競賣ノ通知等ヲ此結果イタスコトニナルノデアリマス、民事訴訟用印紙法ハ、是ハ前ニモチヨット申上ゲタコトデアリマスガ抵當證券法ニ依リ異議ノ申立テ、即チ抵當證券交付ノ際ニ於ケル利害關係人ノ異議、ソレカラ三十二條一

項ハ競賣ヲ爲サナイデ、償還請求ヲ致シテノ裁判ヲ受ケマス時ニハ特ニ印紙代ヲ定メマシテ、即チ民事訴訟用印紙法ノ十六條ノ二項ニアリマスヤウニ二十圓以下デアレバ五十錢、二十圓以上ハ一圓ト云フ風ノ印紙ヲ詰リ徵收スルト云フ意味デ茲ニ特ニ是ダ點ガアリマシタラバ……

○委員長(子爵伊東祐弘君) 御質問ゴザイ當證券法外四法案ニ付テ御質疑ガアレバ此マセヌケレバ……尙ホ此際司法省關係ノ抵當證券法外四法案ニ付テ御質疑ガナケレバ大藏省關係ノ日本勸業銀行法中改正法律案、此御説明ヲ願テ宜シウゴザイマスカ

之ニ對スル金融ヲ圓滑ニスルト云フ趣旨デ出来テ居リマス次第デアリマス、其趣旨ト同じ意味ニ於キマシテ、假令證券化サレテ居リマセヌモノデモ、所調不動産ヲ抵當トシテ居リマス債權其モノモ、出來ルダケノ二項ニアリマスヤウニ二十圓以下デアレバ二項ニアリマスヤウニ二十圓以下デアレバノ裁判ヲ受ケマス時ニハ特ニ印紙代ヲ定メマシテ、即チ民事訴訟用印紙法ノ十六條ノ二項ニアリマスヤウニ二十圓以下デアレバ五十錢、二十圓以上ハ一圓ト云フ風ノ印紙ヲ詰リ徵收スルト云フ意味デ茲ニ特ニ是ダケヲ附加ヘタ譯デアリマス、尙ホ御不明ノケヲ附加ヘタ譯デアリマス、尙ホ御不明ノ點ガアリマシタラバ……

○政府委員(大久保慎次君) 日本勸業銀行法中改正法律案ノ大要ニ付キマシテハ、過日小川政務次官カラ大體御説明申上ゲテアルデアラウト云フヤウナ趣旨カラシテ不動産ヲ抵當トスル債權ヲ勸業銀行ガ之ヲ質トシテ貸付ヲスルト云フ途ヲ開キ、此不動産資金化ト云フニ大眼目ガ勸業銀行法改正ノ主ナル點デゴザイマス、其第二大眼目ノ仕事ヲ擴張イタシマスコトニ付キマシテ特殊銀行ノ機能ヲ發達セシメル上カラシテ資金ヲ供給スル、又其効クベキ範囲ニ付キマシテ勤業銀行法ト其他ノ特殊銀行トハ可ナ定セラレルト云フコトニナツテ居リマス趣旨ニ付キマシテハ、其抵當證券ノ仕事ヲ勤業銀行ノ方ニ取扱ハセタイト云フコトガ、此勸業銀行法改正ノ第一點デゴザイマス、抵當證券法ハ只今マデ大體ノ質疑應答ガアリマシタノデ、不動産ヲ證券化シマシテ、

殖銀行等ニ付キマシテ尙ホ此定期償還貸付ノ限度ヲ現在ヨリモ擴ゲテ行クト云フ風ナヲ開クト云フコトガ一ツノ眼目ニナツテ居リマス、其他ソノ仕事ノ上ニ多少改正シマス細カイ點ハ各條項ニ付テ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマスガ、附ケ加ヘテ置キマス他ノ一點ハ從來此十人以上ノ連帶債務者ニハ無擔保デ債務償還ノ貸付ガ出來ルコトニナツテ居リマス、是ハ中產以下ノ人達ノ資本額通ノ爲ニ出來テ居リマス關係デゴザイマスガ、今回之ヲ五箇年以内ノ定期償還ノ外ニ年賦償還ノ方モ途ヲ開カウ、但シ十人以上ノ連帶デゴザイマスカラ無制限ニ長イノモイカヌデアラウト思ヒマシテ、十年以内ト云フコトニ致シマシタ次第デゴザイマス、其次ニハ從來此日本銀行ガ政府ノ所有又ハ保管ニ係リマス郵便貯金等ノ運用ニ於キマシテ保管ニ係リマス郵便貯金等ノ運用ニ於庫ノ關係カラ全部日本銀行ガ取扱テ居ル譯デゴザイマス、其取扱シテ居リマス有價證券ノ大部分ハ日本勸業銀行ノ發行シテ居リマス勸業債券又ハ貯蓄債券トカ復興債券トカ云フ風ナモノデゴザイマス、日本銀行ハ從來カラ倉庫ノ關係其他デ取扱ニ非常ニ如意ヲ感ジテ居リマス次第デゴザイマス、

勸業銀行ハ今度立派ナ建物モ出來マスシ、倉庫ノ上ニ於テモ十分デアルニ拘ラズ自分ノ發行シタル債券ヲ自分ノ方デ取扱ヒマスト、利拂元金ノ償還等ニ付テ非常ナ面倒ナク致シマス次第ゴザイマスカラ、日本銀行ノ爲ニ是等ノ有價證券ノ管理ヲスルコトガ出來ルト云フ風ナ規定ヲ附ケ加ヘマシタ次第ゴザイマス、不動産資金化ニ關係シマス以外ニハ極ク僅ノ點ニ於テ此機會ヲ以テ附ケ加ヘマシタ次第ゴザイマス、尙ホ簡単ナ法文ゴザイマスカラ逐條デ申上ダマスコトガ出來マスレバ甚ダ仕合セゴザイマス

○委員長(子爵伊東祐弘君) 如何ゴザイマスカ、御質問ガ餘リアセラレヌケレバ大藏省所管ノ後ノ農工銀行法中改正法律案北海道拓殖銀行法中改正法律案、國稅徵收法中改正法律案、貯蓄銀行法中改正法律案、之ヲ一緒ニ御説明ヲ承ハッテ如何カト思ヒマスガ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○委員長(子爵伊東祐弘君) デハ一緒ニ御願ヒ致シマス

○政府委員(大久保慎次君) 農工銀行及北海道拓殖銀行ニ付キマシテハ勸業銀行ニ付テ大體申上ダマシタノト殆ド同ジゴザイ

マス、唯農工銀行及北海道拓殖銀行ニ付キマシテハ債券發行ノ限度ヲ十倍ト今マデアリマシタノヲ十五倍ト致シマシタ、地方農工銀行及北海道拓殖銀行ハ制限ニ稍近クナツテ居ル實狀デゴザイマスカラシテ、此際抵當證券及不動產ヲ抵當トシテ居リマスガ延ビマスカラ、其發行限度ヲ五倍ダケニ増加シタイ、諸外國ノ不動產銀行ノ例ヲ見マシテモ二十倍、三十倍、佛蘭西ノ不動產銀行ノ如キハ五十倍ト云フヤウナ實例モゴザイマスカラ漸次ニ是ガ上々テ行キマスト云フコトハ適當デアラウト思ヒマシテ、此程度ノ範圍ヲ擴張イタシマシタ次第ゴザイマス、ソレカラ此農工銀行ニ於キマシテハ從前地方ノ府縣ヲ限りトシテ居リマシタ銀行デアリマシテ、資力モ初メノ間ハ左程力強イ譯デゴザイマセヌデシタカラ、市町村ニ對スル貸出シハ認メテ居リマシタケレドモ、無抵當ノ方デゴザイマスガ認メテ居リマシタノデゴザイマスガ、府若クハ縣ニ對スル貸付ハ銀行ノ資力ガ十分デナイト云フ點ト、割合ニ府トカ縣トカ云フ風ノモノ要求額モ大キカラウト云フヤウナ、兩方ノ意味デ以テ認メテゴザイマセヌデシタク、道ト云フモノヲ附ケ加ヘルト云フコトニ致シマシタ、尙ホ殆ド大體蓋シマシタ積リデゴザイマスケレドモ、逐條ニ參リマシテ申上ダタイト思ヒマス、國稅徵收法ノ關係ニ付キマシテハ、今マデ現行法ニ於キマ

イタシテ參リマスルシ、市町村ノミナラズ、府縣ト云フヤウナ方面ニ資金供給ノ任ニモ十分ニ當リ得ルト云フ風ニ認メラレマスノテ、其方ノ途ヲ開カフト云フ點ガ附ケ加ハッテ居リマス、モウ一箇所農工銀行ニ付キマシテ附ケ加ヘテ居リマスノハ、是又頗ル事務的ノ問題デゴザイマスガ、農工銀行相互間ニ於キマシテ、各農工銀行ノ發行イタシテ居リマス所ノ債券ノ元利支拂ノ事務ヲ取扱ハセルト云フコトガ加ハッテ居リマス、農工銀行ハ總テ窮屈ニ法律ガ出來テ居リマス、此際御互ニ他府縣ノ方面ニ於キマシテモ農工銀行ノ債券ト云フモノガ流レテ居リマスカラ、其元利支拂ノ事務ヲ他ノ農工銀行ガ取扱フト云フコトハ非常ニ便利デゴザイマスシ、ソレ等ノ點ニ附ケ加ヘラ致シマシタ、ソレカラ北海道拓殖銀行ニ付キマシタ、先程申シマシタ農工銀行ニ付キマシテハ、大體ソレ以上ノ追加ハゴザイマセヌデスガ、先程申シマシタ農工銀行ニ付キマシテハ、府縣ヲ加ヘマシタノニ準ジマシテ、北海道拓殖銀行ノハ、其市町村バカリデナク、道ト云フモノヲ附ケ加ヘルト云フコトニ致シマシタ、尙ホ殆ド大體蓋シマシタ積リデゴザイマスケレドモ、逐條ニ參リマシテ申上ダタイト思ヒマス、國稅徵收法ノ關係ニ付キマシテハ、今マデ現行法ニ於キマ

シテ、納稅者ノ財產ノ上ニ抵當權ヲ有シテ居リマスモノガ、國稅ニ付キマシテ先取特權ヲ行使イタシマスノニハ、其抵當權ノ設定ガ一箇年前ニソレヲ證明シナケレバナイコトニナツテ居リマシタ、今度抵當證券上ニ設定サレマシタ抵當權ニ付テ、抵當證券ガ發行セラレマス場合ガ出來テ參リマシタ、其證券ガ轉々イタシマシテ、所持人ガ變ラテ來リマシテ、從テ稅務署ガ權利者ニ通知ヲスルト云フ風ナコトガ、今マデ通リニナクナリマシタ關係カラシテ、債權者ガ國稅ニ對シマシテ、先取權ヲ行使スル機會ヲ失フガ如キヤウナ場合ガアッテハイカヌト云フコトカラシテ、斯ウ云フ風ナ場合ニハ相當期間ノ猶豫ヲ與ヘマシテ、其權利行使ノ機會ヲ得シムル必要ガゴザイマス、ソレデ今マデハ一箇年前ニ證明シナケレバナルヌト云フノデアリマシタノガ、今度ハ此本法ニアリマス通り債權ノ辨濟期限後四箇月ヲ過グルモ其證明ヲ爲サザルトキハ、其保管シタル金額ヲ稅金ニ充テルト云フ風ナ形ニ致シマシタ、餘リ是モ長イト云フト、國稅徵收ノ方カラ不便モ多カラウト云フコトデ、證券所持人ニ交付スル物件ノ賣却後

二年内ニ其證明ヲ爲サザルトキ亦同ジト云
フノデ、是ハ二年ニ制限イタシマシタ趣旨
尙ホ逐條ニ入リマシテ申上ゲルコトニ致シ
デゴザイマス、大體左様デゴザイマスガ、

○水上長次郎君 勸業銀行デモ、農工銀行
デモ、其條例ノ改正モ同様ニナッテ居リマス
ガ、抵當證券ノ賣買ヲ爲スコトヲ得ト云フ
コトニナッテ居リマス、今度改正案デハネ、
固ヨリ賣買ト云ヘバ其名ノ如ク賣リ買ヒヲ
スルノデアリマセウガ、ソレハサウ云フ行
爲ヲ銀行ニ於テスルノハドウ云フ動機デア
リマスカ、如何ナル動機ニ於テサウナルノ
デアリマスカ、或ハ又……或ハト云フコト
ハ取消シマス、ドウ云フ動機デサウ云フコ
トガ起ルノデアリマスカ、ソレヲ先ツ第一
フノハデスナ、思惑ト云フコトハ語弊ガア
ルカモ知レマセヌガ、賣買上ニ依ツテ利益ヲ
得ルト云フ考カラ、サウ云フコトガ出來ル
ノデアリマスカ、或ハ取引ノ關係上、何カ
サウ云フヤウナ方法ニ據ラナケレバナラヌ
ト云フヤウナコトカラ、サウ云フコトニナ
ルノデスカ、ソレヲチヨット伺ヒタイ
○政府委員(大久保債次君) 抵當證券ハ質
トシテ貸シマス場合ハ、是ハマア普通ノ貸

付ニナル關係ニナリマス
○水上長次郎君 ソレハ分リマス、賣買
價證券ニナッテ居リマス譯デゴザイマス、此
有價證券ヲ銀行業者トシテ買取りマスト云
フコトハ、要スルニ抵當證券轉々流通ノ一つ
ノ方法デゴザイマシテ、所謂抵當證券ヲ創
設イタシマシテ、ソレニ依ツテ金融ヲ與ヘル
ト云フ趣旨カラ出テ來テ居リマス次第デゴ
ザイマス

○名取忠愛君 サウ云フ場合ニハドウ云フ
手續ニ……、矢張リ裏書スル……抵當證券
ヲ買フト云フ時ニハ……

○政府委員(大久保債次君) 御説ノ通リデ
ゴザイマス、買ヒマシテ持ツテ居リマスノハ
譲受人トシテソレヲ受取りマス、ソレガ
買入レノ場合、ソレカラソレヲ賣リマス場
合ニハ、裏書シテ他ニ譲渡イタシマス、唯
銀行業務ノ方ノ形カラ之ヲ賣買ト申シマシ
タ次第デゴザイマス

○名取忠愛君 分リマシタ

的ニ固ク出來テ居リマス次第デゴザイマ
ス、普通ノ銀行ヨリモ働キマス範圍ガ非常
ニ制限的ニ出來テ居リマス、デ時世ノ進運
ニ伴ヒマシテ、多少貯蓄機關トシテノ本能
ヲ維持シツツ、其効キヲ差支ガナイ程度ニ
擴ゲテ行カウト云フ風ナ是ハ趣旨デ出來テ
居リマス、第一點ハ貯蓄銀行ノ業務中ニ國
債、地方債、又ハ特別ノ法令ニ依リ設立シ
タル法人ノ債券ノ割賦販賣ヲ認メマス、自
然割賦販賣ヲ認メマス關係カラシテ、是等
ノ證券ノ募集又ハ元利金支拂ノ代理取扱ヲ
認メルト云フコトニナッテ居リマス、デ此有
價證券ノ割賦販賣ハ、庶民階級ノ貯蓄ノ一
方法トシテ極メテ適當デゴザイマシテ、元
來其割賦販賣ノ方法ハ貯蓄銀行ガ定期積金
ヲ取扱テ居リマスノト殆ド同ジ形デゴザ
イマスカラシテ、貯蓄銀行ニ併セ營マセル
ノハ頗ル便宜デアリ、且又差支ナイデアラ
ウト云フ趣旨カラ追加イタシマシタ次第デ
ゴザイマス、其取扱ヒマス有價證券ニ付キ
マシテモ、貯蓄銀行ニ極メテ相應ハシイ意
味ヲ以チマシテ、極ク堅實ヲ旨ト致シマシ
テ、國債、地方債及ビ特別ナ法令デ設立シ
マシタ勸業銀行ノ債務ト云フ如キ固イモノ
ニ制限イタンマシタ次第デゴザイマス、第
二點ハ今日貯蓄銀行法ノ資金運用ノ方法モ

亦法律デ極メテ嚴格ニ出來テ居リマス、餘
リ窮屈デ實際ニ於テ營業上支障ヲ來シテ居
ルト云フ風ナ點モ實例上ゴザイマスノデ、
是モ極メテ穩當ノ範圍ニ於テ資金運用ノ途
ヲ少シ擴ゲヤウト云フ趣旨デゴザイマス、
其運用範圍ノ擴張ニ付キマシテ、第一ハ道
府縣市町村ニ對スル一年以内ノ貸付ヲ認メ
マシタノデアリマス、斯ウ云フ風ナ公共團
體ニ對スル、而モ一年以内ノ貸付ハ極メテ
安全デアラウト云フ趣旨デ加ヘマシタ、ソ
レカラ第二ニハ極ク小額ノ貸付ヲ營マセマ
ス、此點ニ付テハ後ホド更ニ申上ゲタイト
思ヒマス、第三ニハ大藏省預金部ヘノ預金
ヲ認メマシタ、是モ極メテ確實ナル方法ト
思ヒマス、ソレカラ其次ニハ信託會社ヘノ
金錢信託及有價證券ノ信託竝ニ信託會社ノ
引受ケマシタル手形ノ買受ト云フコトヲ認
メマシタ、今日信託會社ハ銀行ト相竝ビマ
シテ、頗ル確實ナルモノモ多イノゴザイマ
スカラシテ、是等ノ途ヲ開キタイト云フノ
ガ主眼デゴザイマス、デ先程第二ニ申上ゲ
マシタ小額短期貸付ニ付キマシテハ、是ハ
庶民階級ノ經濟力ノ増進又ハ貯蓄ノ美風潤
養ト云フコトカラ見テ極メテ必要ナルコト
ダラウト思ヒマス、尤モ是ハ一面カラ見マ
スト云フト、相當無擔保貸付デゴザイマス

カラシテ放漫ニ流レテハイカヌト云フコトモゴザイマスカラシテ、ソレ等ノ點ニ付テモ制限規定ヲ設ケマシテ、一人ニ對シテハ一千圓以内、其貸付得ル總額ヲ拂込資本金及準備金ノ五分ノ一ニ制限イタシマシテ、銀行ノ安全ヲ期シマシタ、且ツ又一面貸付ノ際ニバ二人以上ノ確實ナル保證人ヲ附ケルコトヲ要スル、斯ウ云フコトニ致シマシタ、デ普通銀行其他ニ於キマシテ輓近時勢ノ要求カラシテ庶民階級ニ對スル無擔保貸付ハ色ミノ方法デ以テ行ハレテ居リマス、案外少額ノ貸付ハ成蹟ガ宜シヤウデゴザイマスカラ、ソレ等ノ實驗ヲ參酌イタシマシテ、貯蓄銀行ニモ最モ穩當デアルト云フ趣旨ニ於テ追加イタシマシタ次第デゴザイマス、第三點ハ大藏省預金部ノ預金ヲ認メマシタ以上ハ、之ヲ以テ貯蓄銀行ノ供託有價證券ニ代用サセタイト云フ點デゴザイマス、御承知アラセラレル通り貯蓄銀行ハ自分ノ預カッテ居リマス預金額ノ三分ノ一以上ヲ、國債等ヲ以テ政府ニ供託サセテ置キマシテ、非常ニ預金者ノ安全ヲ是ガ爲ニ確保スル趣旨ニ出來テ居リマス、國債等ヲ供託イタシマスノト大藏省預金部ニ預金ヲ致シマスノハ同ジデアラウト思セマスノデ、大藏省預金部ニ對スル預金ハ此供託ノ國債

等ニ代用シテ宜シト云フ途ヲ開キマシタ次第デゴサイマス、アラマシ以上ノ三點デゴザイマス、細カイ點ハ御質問ニ應ジテ御答へ申シタイト思ヒマス
○有吉忠一君 農工銀行法ノ改正ニ付テ伺テ置キタイ、府縣ニ貸出ヲ許スコトニナツテ居リマスガ、其府縣ハ農工銀行ノ所在地ノ府縣ニ限ラナイデ、他ノ府縣モ貸出ガ出来ルト云フ趣旨デアリマスカ、府縣ハ何處デモ宜イノデスカ

○政府委員(大久保慎次君) 只今マデ府縣ハ實際ニ於テ有抵當ノ場合ニ付テハ差支ヘゴザイマセヌデシタガ、是ハソレヲ無抵當デ許サウト云フノト、其所在ノ府縣ト云フコトニナツテ居リマス

○有吉忠一君 其所在ノ府縣ニ限リマスカニ付テハ監督官廳ノ認可ヲ要スル、併シ其認可ガアツテモ今日迄府縣ノ容喙ニ付テハ可ナリ苦シムモノモナイデハナイ、殊ニ色々ナ争ノ多イ府縣ナドニナルト、ツイサウ云フヤウナコトガ起ラヌトモ限リマセヌ云ノ付テノ弊ヲ生ズルト云フ憂ハ最早ナクナツテ居ルト云フ風ニ、大藏省デハ御觀察ノナツテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲチヨット承ハツテ置キ

○政府委員(大久保慎次君) 御答ヘ申上ゲマス、其點ニ付テハ、仰セノヤウナ事柄ニ付テモ多少心配ヲ致シマシテ色ニ調査ヲシテ見マシタガ、仰セノ通り農工銀行ハ、設立ノ當時カラ府縣ニ株ノ何分ヲ引受ケマシマセスカ、一應承ハリタイ

○政府委員(大久保慎次君) 合併ノ結果ノ能ク知リマセヌガ、今度府縣ニ農工銀行力ラ貸出ヲ許ス途ヲ開ケルト云フコトニナルト、此頃府縣デハ色ミノ事業ヲヤラウトシテ隨分熱心ニナツテ來マシタガ、併シ其財源ニ付テ非常ニ苦シム場合カ多イ、其時ニ、農工銀行ノ役員ノ選任ニ付テ非常ニ強イ權力ヲ持ツテ居ル知事ガ、農工銀行ニ向シテ不當ト言フト語弊ガアルガ、威力ヲ用ヒテ貸出ヲ強ヒルト云フヤウナ憂ハ全クナイノデアリマセウカ、勿論府縣ガ公債ヲ起スニ付テハ監督官廳ノ認可ヲ要スル、併シ其認可ガアツテモ今日迄府縣ノ容喙ニ付テハノ事柄ニ付テハ只今仰セノ通り、内務省大藏省ニ於テ府縣債ノ起債等ニ付テノ監督モゴザイマス、大藏省トシテハ特殊銀行ノ關係カラ十分ニ監督シテ居ル積リデゴザイマスカラ、今日此途ヲ開イタガ爲ニハ弊害ハ起ルマイト考ヘテ追加シタ次第デゴザイマスカラ、今日此途ヲ開イタガ爲ニハ弊害ハ起ルマイト考ヘテ追加シタ次第デゴザイマス

○有吉忠一君 只今農工銀行ト勸業銀行トノ合併ノ問題ニ付テ御話ガアリマシタ、此合併ヲサレタ後ノ成蹟ハ如何デスカ、其地方デ是迄ハ金融ヲ農工銀行デ受ケタ細カイモノガ、勸業銀行ニ合併ニナツタガ爲ニ其便宜ガ乏シクナルト云フヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマスガ、サウ云フ憂ハアリマセスカ、一應承ハリタイ

成蹟ニ付テノ御尋ト思ヒマス、各地方ニ依テ、一般ニ必ズ同一デアルト云フ風ニハナッテ居リマセヌケレドモ、合併後ノ成蹟ハ大體ニ於テ、貸出其他ハ殖エテ居ル實情ニナッテ居ル次第デゴザイマス、往々勸業銀行ハ小サイ方面ニ付テ面倒ガッテイカヌカラト云フ風ナ非難モ餘程世間カラ聞ク次第デゴザイマス、併シ漸次勸業銀行ニ付テモ小口貸付ト云フモノニ付テハ督勵サセテ居ル次第デアリマシテ、昨今ノ狀態ハ、勿論各府縣同一トハ申上ガカネマスガ、大體達觀スルト、大體ニ能ク進行シテ居ル次第デゴザイマス

全国ニ施行スル費用ノコトヲチヨット申上
ゲタイト思ヒマス、抵當證券法ヲ全國ニ施行イタシマスル所要經費ノ極ク大體ノ見積
ヲ御詫イタシマス、初年度ハ二百三十一万
四千四百五十三圓バカシヲ要シマシテ、ソ
レカラ次年度カラハ九十六万六千五百四十
九圓ヲ要スルコトデアリマス、ソレカラ初
年度ニ於キマシテハ設備費ニ於テ餘程費用
ガ掛カルノデアリマス、只今登記所ニハ金
庫ノ備附ケガアリマセヌノデアリマスガ、
之ヲ證券法ヲ施行イタシマスルト、申請人
ノ登記事務書類トカ或ハ債券證書ナンカヲ
交付スル迄預カル關係モアルシ、又用紙ナ
ンカモ是ハ大事ニ保管シテ置キマセヌト、
是ガ盜マレマシタリナンカ致シマシテ、僞
造サレル虞レガアリマスノデ、サウ云フモノ
ヲ保管スル爲ニ金庫ナンカヲ設備シナケレ
バナラヌノデ大費用ガ掛カルノデアリマ
ス、其外ニハ用紙ガ是ハ餘程要リマス、初
年度ニ於テハナゼ斯ウ云フ風ニ澤山要リマ
スカト云フト、今マデノ既存ノ抵當權ニ付
テ證券ガ發行サレマス關係上、斯様ナ澤山
ナ經費ガ要ルノデアリマス

○政府委員(森田豊次郎君) ルノデス

○有吉忠一君 全然入レルノデスカ

○政府委員(森田豊次郎君) 總費用デゴザイマス

○有吉忠一君 入レマスト、今度入レル分ノ五十万圓モ這入ッテ居ルノデスカ

○政府委員(森田豊次郎君) 這入ッテ居ルノデス

○水上長次郎君 サウスルト政府ハ初年度ニ於テ二百三十一萬圓ト云フモノガ要ルノデスナ、サウシテ次年度カラ九十六萬圓デスカ

○政府委員(森田豊次郎君) サウデス

○子爵前田利定君 是ハ平年度デスカ

○政府委員(森田豊次郎君) 是ハ初メノ年ハ是ダケデスガ、ソレガ平年度ニナリマスト二十四万圓位デ賄ヘルノデス

○名取忠愛君 登記料ノ收入ハ……

○政府委員(森田豊次郎君) 収入ノ點ヲ申シマスト、大體ハ是ハ手數料ガ收入ノ主ナモノデアリマンテ、最初ノ年ハ二百五十六万二千圓餘リ、是ハ勿論概算デアリマスガ、二百五十六万二千圓餘リガ手數料ノ收入デアリマシテ、是ガ豫想通リニ行キマスルト云フト此手數料ダケデ收支ガ償ヘテマダ十

出席者左ノ如シ	午後三時十五分散會
委員長	子爵伊東祐弘君
副委員長	松本烝治君
委員	子爵前田利定君
政府委員	水上長次郎君
	有吉忠一君
	男爵渡邊修二君
	菅原通敬君
	名取忠愛君
大藏政務次官	小川郷太郎君
大藏省銀行局長	大久保慎次君
司法省民事局長	長島毅君
司法書記官	森田豊次郎君

昭和六年三月二十六日印刷

昭和六年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局